

KAWAGOE

景観



川越市市制施行100周年記念

AWARD FOR KAWAGOE LANDSCAPE DESIGN

かわごえ都市景観表彰作品集



1990 — 2018

平成版

ごあいさつ



川越は、蔵造りの町並みや時の鐘、明治・大正・昭和といった各時代の特徴をよく表す歴史的建造物が数多く残る都市として、現在では多くの観光客にご来訪いただいております。

また、川越駅・本川越駅・川越市駅の3駅を中心に栄える商業、首都圏の食料供給地の役割を担う農業、県内上位の出荷額を誇る工業がバランスよく発展している中核市です。一方、武蔵野の面影を残す雑木林、伊佐沼や新河岸川沿いの水辺、郊外に広がる緑豊かな田園地帯等、歴史の流れとともに、それぞれが特色ある優れた景観を形成しています。

優れた都市の景観は自然に形成されるものではなく、地域の資源や文化を読み解き、新たな知恵を導入し未来へ伝える日々の積み重ねの中で、市民の皆様とともにはぐくんできた努力の結果であると感謝しております。

令和4年12月に本市は市制施行100周年を迎えます。この節目の年に、今一度これまでの景観の歩みを振り返り、次の100年を見据えるため、平成期におけるかわごえ都市景観表彰作品集を作成いたしました。平成2年度に始まった本表彰制度は、平成30年度までに15回開催し、99点の作品が受賞しております。受賞作品の中には皆様も一度は目にしたことがある作品があるのではないのでしょうか。これらの作品は都市景観に彩りを与え、さらなる魅力を与えています。

今後もこのような優れた建築物等が創造されることで、より良好な都市景観が形成されていくことを期待しています。

令和4年10月

川越市長 川 合 善 明

平成における川越の景観の歩み

1989年（平成元年）

- 埼玉県初の川越市都市景観条例施行（旧条例）
- 北環状線と歴みち4路線の都市計画決定
- 観光市街地形成事業開始（平成元～5年）

1990年（平成2年）

- 川越駅東口再開発事業竣工
- 西武新宿線本川越駅竣工
- 市立博物館開館

1991年（平成3年）

- 歴みち事業：菓子屋横丁通り線完成

1992年（平成4年）

- 電線地中化事業：一番街通り
- 歴みち事業：養寿院門前通り線・長喜院門前通り線完成
- 「川越景観百選」選定

1993年（平成5年）

- 「十カ町会」発足
- 第16回全国町並みゼミ川越大会開催

1994年（平成6年）

- 電線地中化事業：鐘つき通り
- 川越市町並み改装事業開始（平成6～10年）
- 「大正浪漫委員会」発足

1995年（平成7年）

- 銀座通りのアーケード撤去
- 十カ町会ワークショップ

1996年（平成8年）

- 時の鐘が「残したい日本の音風景100選」に選定 環境庁
- 文化財保護法に登録有形文化財制度制定
- 「旧八十五銀行本店本館」県内初の国の登録有形文化財に登録

1997年（平成9年）

- 十カ町会が市に伝建地区指定の要望書提出

1998年（平成10年）

- 川越市伝統的建造物群保存地区保存条例の制定

1999年（平成11年）

- 重要伝統的建造物群保存地区の選定（川越市伝統的建造物群保存地区及び中央通り線の縮小変更の都市計画決定）
- 川越一番街蔵造りの町並みが「グッドデザイン賞特別賞アーバンデザイン賞」を受賞（財）日本産業デザイン振興会

2000年（平成12年）
●川越歴史的町並地区が都市景観大賞「都市景観100選」を受賞 建設省 ●アメニティあふれるまちづくり優良地方公共団体表彰 環境庁 ●都市景観重要建築物等指定開始 ●川越市都市計画マスタープラン策定
2001年（平成13年）
●旧鏡山酒造を市土地開発公社が取得 ●歴みち事業：大正浪漫夢通り線完成 ●川越の菓子屋横丁が「かおり風景百選」に認定 環境省 ●川越市川越伝統的建造物群保存地区防災計画を策定
2002年（平成14年）
●4ヶ年事業の特殊防災事業を開始（平成14～17年度） ●歴みち事業：行伝寺門前通り線完成 ●旧川越織物市場を市土地開発公社が取得 ●市立美術館開館 ●川越蔵の会NPO法人化
2003年（平成15年）
●歴みち事業：鐘つき通り線完成 ●川越まつり会館開館 ●町並み委員会が「日本都市計画家協会大賞」を受賞 日本都市計画家協会
2004年（平成16年）
●景観法の創設 ●川越十ヵ町地区都市景観形成地域施行
2005年（平成17年）
●「川越氷川祭の山車行事」国の重要無形民俗文化財に指定 ●蔵の会地域再生モデル事業調査（職人再発見） ●十ヵ町会が「まちづくり月間国土交通大臣表彰」を受賞 国土交通省
2006年（平成18年）
●川越城が「日本100名城」に選定 日本城郭協会 ●全国伝統的建造物群保存地区協議会川越大会開催
2007年（平成19年）
●一番街歩道整備、街路灯新設 ●クレアモール・八幡通り周辺地区を都市景観形成地域に指定 ●蔵造りの街並みが「美しい日本の歴史的風土100選」に選定（財）古都保存財団 ●スウェーデン国王・王妃両陛下、天皇皇后両陛下川越訪問 ●川越市が「岩切章太郎賞」受賞 宮崎市
2008年（平成20年）
●歴みち事業：寺町通り線完成 ●川越都市計画道路事業3・4・3号中央通り線ほか6路線が「全国街路促進協議会会長賞」を受賞 全国街路事業コンクール ●観光ルネッサンス事業
2009年（平成21年）
●伝建地区住民協議会として「川越町並み委員会」再発足 ●重要伝統的建造物群保存地区選定10周年 ●平成百景に選定 読売新聞創刊135周年記念 ●中央通り周辺地区がクレアモール・八幡通り周辺地区都市景観形成地域に編入

2010年（平成22年）
●小江戸蔵里オープン ●川越蔵の会が「地域づくり総務大臣表彰」受賞
2011年（平成23年）
●東日本大震災 ●川越市歴史的風致維持向上計画認定（歴史まちづくり法） ●都市景観課作成の都市景観啓発パンフレットが「まちづくりグッズ賞」を受賞 日本都市計画学会
2012年（平成24年）
●川越百景選定 ●小江戸川越ライトアップ開始
2013年（平成25年）
●私鉄5線相互直通運転開始 ●川越町並み委員会が「まちづくり月間国土交通大臣表彰」を受賞 国土交通省
2014年（平成26年）
●川越市都市景観条例改定（景観法委任条例） ●川越市景観計画施行 ●旧山崎家別邸整備
2015年（平成27年）
●川越町並み委員会を都市景観推進団体に指定 ●ウェスタ川越オープン
2016年（平成28年）
●「川越氷川祭の山車行事」ユネスコの無形文化遺産登録 ●川越市歴史的建築物の保存及び活用に関する条例施行 ●第6回全国町家再生交流会川越大会
2017年（平成29年）
●川越市川越伝統的建造物群保存地区防災計画を改定 ●川越町並み委員会発足30周年 ●川越町並み委員会が「地方自治法施行70周年記念総務大臣表彰」を受賞 総務省 ●時の鐘耐震化事業完了 ●元川越町並み委員会委員長可児一男氏が「埼玉県産業功労表彰」を受賞 埼玉県
2018年（平成30年）
●NPO法人川越蔵の会を歴史的風致維持向上支援法人に指定 ●歴史まちづくり法10周年記念シンポジウム川越大会開催
2019年（平成31年、令和元年）
●重要伝統的建造物群保存地区選定20周年 ●喜多院周辺地区を都市景観形成地域に指定 ●「旧山崎家別邸」国の重要文化財に指定 ●新型コロナウィルス感染症の拡大

かわごえ都市景観表彰とは

「かわごえ都市景観表彰」は、歴史と伝統の香る川越の景観に調和し、今後の都市景観を形成していく上で、その先駆又は象徴と考えられる建築物・工作物等に対して表彰するもので、川越市景観条例に基づき実施しています。

表彰の種類は、「都市景観デザイン賞」と「都市景観ポイント賞」の2種類があります。

表彰基準

都市景観デザイン賞

空間を構成する素材すべてにバランスがとれ、新しい試みや工夫が盛り込まれ、景観づくりに対する模範となるもの

- (1) 伝統的な町並み景観の保全、調和を図ったもの
- (2) 河川、公園などの自然の景観要素とうまく調和しているもの
- (3) 将来のまちの景観をリードしていくような積極的提案が盛り込まれたもの
- (4) 住民の創意工夫又は活動によって、整備、管理又は利用状況が、周辺の環境や都市景観又は市民の利用上効果的なもの
- (5) その他優れた都市景観の形成に寄与する建築行為等

都市景観ポイント賞

景観をつくりだす様々な具象的・抽象的要素（ポイント）について模範となるもの

- (1) 建築物と一体的にデザインされ、まち並みに配慮されたサイン、看板等
- (2) その地域の文化性を高め、周辺の景観上優れたアクセントとなるモニュメント、彫刻等
- (3) 緑化への努力がされ、やすらぎとくおの空間を提供している植栽等
- (4) 道路に面する部分などの工夫により、周囲に配慮された敷地処理等
- (5) 自然、文化遺産等を保存し、又は積極的に取り入れ活用している行為
- (6) 工事中の仮囲い、空間の利用、管理、夜間照明等その他都市景観の形成に寄与する行為

記念トロフィー

都市景観表彰記念トロフィー (第1回～10回)



作 者：関根伸夫
テ ー マ：「大地の輪」
イメージ：川越の大地から望む風景の輪の中にあつてこれからの景観づくりのリーダーとなるべき作品に焦点をあわせたイメージです。

都市景観表彰記念トロフィー (第11回～15回)



作 者：関根伸夫
テ ー マ：「風景の指輪」
イメージ：自分がはめている指輪を抜いて、これはと想う風景の前に置いて下さい。すると風景はますます輝いて美しく見え、指輪が景観を引き締めているのが分かります。

審査について

川越市都市景観審議会景観表彰審査部会
(かわごえ都市景観表彰審査部会)

川越市都市景観審議会会長が審査部会の会長を務め、委員は川越市都市景観審議会の委員と市民の代表者により構成されています。

審査は実際に現地に赴き、候補作品を確認したうえで、選定されます。



まちかど審査会

市民の皆様からの意見を取り入れるとともに、街の景観について広く知っていただく目的で、第3回(平成6年度)から川越市都市景観審議会景観表彰審査部会の開催前に実施しています。

実施当初は本川越駅前広場や川越駅東口のデッキ等で開催していました。現在は川越市役所や市民センターにて2週間程度の期間を設け、開催しています。

【参加者数】

第3回	521人
第4回	294人
第5回	627人
第6回	686人
第7回	815人
第8回	764人
第9回	612人
第10回	335人
第11回	540人
第12回	487人
第13回	279人
第14回	281人
第15回	293人



contents

第1回(平成2年度)	5
第2回(平成4年度)	7
第3回(平成6年度)	9
第4回(平成8年度)	11
第5回(平成10年度)	13
第6回(平成12年度)	15
第7回(平成14年度)	17
第8回(平成16年度)	19
第9回(平成18年度)	21
第10回(平成20年度)	23
第11回(平成22年度)	25
第12回(平成24年度)	27
第13回(平成26年度)	29
第14回(平成28年度)	31
第15回(平成30年度)	33
彩の国景観賞受賞作品	35
その他受賞作品	39
川越景観百選	41
川越百景	43
受賞作品案内図	45

※なお、掲載内容は表彰当時のものです。

都市景観
デザイン賞

近 滝

時代を映した町家の復元



鉄骨造を感じさせない白木生地の伝統的なファサードに、墨で書かれた「近滝」の書体、モダンなショップフロント、表通りからは見えない3階部分の処理など、町並みに対する伝統性と店舗づくりからくる現代性が絶妙なバランスで溶け込んでいます。（現在は別の店舗になっています。）

〔幸町5-3〕

■建 主／(株)近滝
■設 計／(株)地区計画コンサルタンツ
■施 工／関谷建設工業(株)

都市景観
デザイン賞

御伊勢塚公園調整池

機能を超えた複合利用



始めに公園ありき……、調整池という機能的な側面を感じせずに、自然な雰囲気のある公園として仕上げられ、傾斜を利用して立体的な散策が楽しめるようになっています。機能と景観を両立させる試みを高く評価したいものです。

〔伊勢原町3-3〕

■事業主／住宅・都市整備公団

都市景観
ポイント賞

つちかね

伝統的な町のアメニティー



川越にある形態を生かし、スリットから店内を見せることで民芸品の魅力を際立たせています。足元のタイルが壁まで立ち上がり、自然に視線を誘います。落ち着いたのなかにも楽しい雰囲気をもった粋なお店です。

〔新富町1-5-4〕

■建 主／(街)つちかね
■設 計／(株)三双建築設計事務所
■施 工／(株)石田工務店

都市景観
ポイント賞

札の辻モニュメント

シンボルモニュメント



旧城下町の要の位置で、昼は道しるべ、夜は灯りのともるモダンな燈籠の役割をしています。小さいながらも川越のシンボルモニュメントとして、市で施工したポケットパークと協調し、独自の空間を演出しています。（現在は向いのポケットパークに移設されています。）

〔元町2-4-2〕

■建 主／川越ロータリークラブ
■設 計／(株)環境美術研究所
■施 工／(株)環境美術研究所

都市景観
ポイント賞

西 川 邸

街並みを演出するゲート



通りに臨むゲート部分が街並みに連続感を与えてくれます。そこから玄関へとつづく植え込みや足元の石の造作が、奥に見え隠れする大屋根の建物と調和して、品の良い空間をつくっています。

[通町]

■建 主／西川祐一
■設 計／(株)佐藤秀工務店
■施 工／(株)佐藤秀工務店

都市景観
ポイント賞

山口病院

都市景観のグレードアップ



丸みを持たせたコーナー部分と光沢のあるタイル、奥行きを感じさせる開口部や入口のサインなどが品格のある建築としてまとまっており、道ゆく人に圧迫感を与えません。今後駅周辺の景観づくりの模範的な存在となっていくと思われます。

[脇田町16-13]

■建 主／医療法人 山口病院
■設 計／(株)伊藤喜三郎建築研究所・戸田建設(株)
■施 工／戸田建設・川木建設共同企業体

都市景観
ポイント賞

紋 蔵 庵

川越らしさへのチャレンジ



川越郊外に位置する店舗として、「蔵造り」という江戸風の粹に対して京風の粹を表現した建築。数奇屋造りの持つ切れの良いデザインと木の感触が、季節感のある演出ときれいに調和しています。

[古谷上3788-1]

■建 主／(有)亀屋紋蔵
■設 計／菊池建設(株)
■施 工／菊池建設(株)

総 評

今回の受賞作は、伝統的な町並みに調和しながらモダンな工夫がされているもの、新しく変わりつつある街にあって、モダンなデザインの中にも川越らしい落ち着きを感じさせるものなどが目をひきました。どの作品も川越がもつパーソナリティーに対してデザイン上のバランスをとり、個々の良さはもちろん、今後の景観づくりに対するリーダーになり得るものであると思います。

都市景観
デザイン賞

あいとく

さりげなさの存在感



看板で覆われて見えなかったかわいらしい蔵造りが修復され、建物にふさわしい洒落たお店が出来上がりました。奥に新築されたモダンな住宅とのバランスも工夫が見られます。上品なアルミの看板、たたきにあしらったビー玉細工、通りから望むディスプレイなど、住まい手の建物に対する愛着が感じられます。

〔幸町3-3〕

- 建 主／小島健一
- 設 計／醸造建築研究所
- 施 工／共和木材(株)・関谷建設工業(株)

都市景観
デザイン賞

西武本川越ステーションビル・広場

演出空間としての駅



西武新宿線の起点駅にふさわしく、ゆったりとしたスペースに樅や檜の樹木、ベンチ、パラソル、灯具、季節感のあるフラッグなどがバランスよく演出された都心の広場に仕上がっています。棟を分け、圧迫感を余り感じさせない建物配置と、川越の風景にマッチしたグレートーンの配色もきれいに仕上がっています。

〔新富町1-22〕

- 建 主／西武鉄道(株)
- 設 計／西武建設(株)一級建築士事務所
- 施 工／西武建設(株)東京支社

都市景観
ポイント賞

亀屋栄泉

町家空間の感触



一番街でいち早く店舗の改築を行っていた亀屋栄泉さん。今回の改築によって店舗部分を上げたことにより奥の座敷と中庭が見わたせるようになりました。2階も新たな展示スペースとして生まれ変わり、町家の生活空間が実感できるようになりました。脇につけられた入口も地域の回遊性に一役かっているようです。

〔幸町5-6〕

- 建 主／中島文昭
- 設 計／創美(株)
- 施 工／創美(株)

都市景観
ポイント賞

アトランタビル壱・貳号館

交差点へのこだわり



交差点を挟むように同質の素材、色彩で協調して建てられており、建物内部にアーケードをとり、歩行空間を提供してくれています。川越の一つの側面である洋風建築の文化にならって、開口部や石張りの外壁に工夫が見られます。パーキングタワーに描かれた向かい合う男女もシンボリック…川越駅周辺の回遊拠点として魅力的です。

〔菅原町23-12、脇田町17-8〕

- 建 主／アトランタ商事(株)
- 設 計／(株)地区計画コンサルタンツ
- 施 工／斉藤工業(株)・岩堀建設工業(株)

都市景観
ポイント賞

幸 す し

露地からの提案



蔵造りの町並みの奥座敷にふさわしい料亭として、竹垣の露地から望む数奇屋風の外観が、大きな楠木とともに落ちついた雰囲気醸しだし、先にある重要文化財大沢家の屋根へと自然に視線を導いてくれます。オクに在ることの良さを実感させる建物です。

〔元町1-13-7〕

- 建 主／(有)幸寿司
- 設 計／(株)地区計画コンサルタンツ
- 施 工／共和木材(株)

都市景観
ポイント賞

JA川越市カントリーエレベーター

のどかさのランドマーク



以前のカントリーエレベーターというと、独立したサイロに上部の小屋といった工作物のイメージであったわけですが、今回はサイロを曲面の壁に見立てた家屋の建築として、親しみのあるデザインにまとめられています。田園風景の中のランドマークとして好感がもてます。

〔北田島634-1〕

- 建 主／川越市農業協同組合
- 設 計／埼玉県経済農業協同組合連合会
- 施 工／(株)クボタ

都市景観
ポイント賞

川越ハートフルタウン「霞の郷」

住宅団地のコミュニケーション



家並みに沿って流れるせせらぎ、道に変化を持たせた樹木配置、玄関ドアに草花のエッチング、中央に置かれた広場と池…住宅団地の造成にあわせて、居住者相互のコミュニケーションの場が設定され、建築と緑化の協定が組まれました。住まい手が気持ちよく暮らしていけるような様々な工夫が盛り込まれています。

〔笠幡61〕

- 建 主／(株)リプラン・(株)イズミ住宅
- 設 計／(株)莫設計同人
- 施 工／(株)細田工務店・(株)出水建設

総 評

今回は、店舗系・住宅系・業務系・工場系あるいは、広場・看板と建築に限らず、巾広いジャンルから推せんがあり、それぞれに質の高い作品が揃いました。受賞作については、造形の良さはもちろんのこと、周辺空間との配置・バランスや、創意工夫されたこだわりの表現、そして何よりも、づくり手と使い手の建物・空間への思いやりが決め手になったように思います。

都市景観
デザイン賞

近長商店

素材を生かした店舗の心づかい



伝統的な町並みの中心に位置する建物を特別な手法を用いず
に改修。空調機を看板の後ろに隠したり、道案内の絵柄を商店
として重要な角に配置したりするなどの配慮でまちの景観に大
きく寄与し、この建物が持っている本来の魅力を引き出してい
ます。

[幸町6-10]

■建 主／(有)近長商店
■設 計／醸造建築研究所
■施 工／(有)大滝建設

都市景観
デザイン賞

長喜院門前整備

門前と境内の一体的広場空間



一番街から長喜院門前まで、敷石を尊重して行った市施工道
路整備のコンセプトを生かし、一体化を計った境内の整備を
行っています。こうしたプロセスは都市景観を形成していくう
えで、極めて好ましい事例といえます。

[幸町5-7]

■建 主／冷月山長喜院
■設 計／吉崎建築研究所・水村設計事務所
■施 工／(有)出光工務店・(有)矢島工業・造園深田園

都市景観
ポイント賞

小松屋製菓

銀座通りからのアピール



看板とアーケードで隠されていた蔵造りを前面に表わし、歴
史と風格が甦りました。袖壁の大谷石を再生し、休憩所の壁と
していることも、改修の成功に貢献しています。（現在は別の
店舗になっています。）

[連雀町11-8]

■建 主／(有)小松屋製菓
■設 計／(株)第一建築設計事務所
■施 工／共和木材(株)

都市景観
ポイント賞

福 呂 屋

時の鐘とのハーモニー



「時の鐘」に隣接する建物であることを考慮し、蔵造り風の
デザインを採用して改修。川越のシンボルと協調する景観とし
て馴染んでいくものになると考えられます。

[幸町15-1]

■建 主／(有)福呂屋
■設 計／創美(株)
■施 工／創美(株)

都市景観
ポイント賞

メリディアンガーデン雪月花

ファッショナブルな共同住宅



3層の伸びやかな立面と、彩度と明度を抑えた薄茶色のタイルが快い雰囲気を作り出しています。自然石や緑の配置が巧みになされ、道行く人にも好感を与えています。
 [上野田町17-1]

■建主／柳沢恒男
 ■設計／コスモアーキテクトデザインオフィス一級建築士事務所・(株)サーリース
 ■施工／近藤建設(株)

都市景観
ポイント賞

荻野金物店

ディスプレイの視覚効果



間口の広い町屋の片方にあるショーウィンドーを同じデザインで他方に設け、店頭の求心力向上をはかりました。ディスプレイもショッピングする人達の関心を増しています。
 [幸町1-1]

■建主／荻野金物店
 ■設計／温井亨
 ■施工／津ヶ原工務店・大東美研

都市景観
ポイント賞

リバーサイド荻番街集会所管理事務所

アメニティのシンボルゾーン



川越のアイデンティティーを生かしながら団地集会所と貯水施設を演出。蔵造りのモチーフだけにこだわらず、塔のデザインを加え、個性的なものになっています。
 [伊勢原町5-5-7]

■建主／住宅・都市整備公団関東支社
 ■設計／住宅・都市整備公団関東支社事業第2部建築課・(株)都市建築計画センター
 ■施工／大木建設(株)

都市景観
ポイント賞

小江戸号レッドアロー10000系

小江戸へいざなう快適特急



西武新宿線本川越駅の拡張にともなって、特急レッドアローに新デザインが加わりました。ハイセンスなカラーコーディネートによって旅気分を満喫できることでしょう。

■企画主／西武鉄道(株)
 ■設計／西武鉄道(株)車両部・(株)日立製作所笠戸工場車両設計部
 ■製作／(株)日立製作所

総
評

今回の応募作を見ると、一番街を中心とした町並み改装シリーズに対して川越イメージの新機軸が台頭し、上質な地域シンボルも生まれてきている状況がわかります。

実質的に11人目の審査委員となった「まちかど審査会」の結果からは、空間単体の作品性よりも、景観素材の持つさり気ない魅力を引き出しているものに、市民の評価が集まったことをうかがわせます。500人を超える投票者からは、川越の持つ潜在的な景観意識、ポテンシャルの高さを物語っていると思います。

都市景観
デザイン賞

田中屋美術館

川越文化の洋装蔵造り



伝統的な町並みの中に建つ、全国的にも珍しい貴重な洋風蔵造りの改修です。解体寸前の建物が再生保存され、一番街の新たな拠点として、川越の良き文化を継承しつつ、蔵造りのまちの景観に豊かな彩りをあたえています。（現在は別の店舗になっています。）

〔仲町6-4〕

■建 主／(有)田中屋
■設 計／(株)ZVO建築研究所
■施 工／(株)三澤屋建設

都市景観
デザイン賞

金 笛

時代を越えた共調



平成版蔵造りとして、大沢家住宅と軒を連ね違和感なく建っています。伝統的な様式の中に、ひさし、窓などの新しいデザインを旨く調和させています。奥へ抜ける露地の演出は、川越の町家の懐の深さを感じさせてくれます。

〔幸町10-5〕

■建 主／笛木醤油(株)
■設 計／(株)ZVO建築研究所
■施 工／清水工業(株)・共和木材(株)

都市景観
ポイント賞

シマノコーヒー大正館

大正ロマンへの誘い



大正ロマンのまちづくりを目指す商店街の先駆的な存在に生まれ変わりました。アーケードで隠されていた建物の歴史と風格が甦り、当時の雰囲気醸しだしてくれています。

〔連雀町13-7〕

■建 主／島野晃
■設 計／(株)伯デザイン
■施 工／(株)伯デザイン

都市景観
ポイント賞

東洋大学川越校舎4号館

自然と構造美の調和



現代的建築として今回唯一の受賞になりました。構造美を最大限に生かし、半円筒を特徴に個性的なものになっています。またキャンパス内に残るみどりと調和が評価され、景観を構成するうえでの好事例といえます。

〔鯨井2100〕

■建 主／学校法人 東洋大学
■設 計／(株)久米設計
■施 工／鹿島建設(株)・戸田建設(株)

都市景観
ポイント賞

小川信用金庫川越西支店

地域と歩む企業からの提案



本来の金融機関の建築にない親しみのある建物になりました。隣接する明治初期の町家と高さをあわせ、蔵造り風のデザインに川越の歴史性を継承し、地域の活性化に寄与しています。（現在は別の店舗になっています。）

[喜多町4-9]

- 建主／綾部和子
- 設計／小川信用金庫・アズマ建設企画(株)
- 施工／関谷建設工業(株)・(株)内田産業

都市景観
ポイント賞

連雀町山車蔵

祭りの伝統を語りつづける



関東三大祭の一つに数えられる川越祭りを彩る絢爛豪華な山車を常設展示しています。建物は蔵造り風のデザインを採用し、川越の景観として馴染んでいくものになると思われます。

[連雀町8-1]

- 建主／連雀町自治会
- 設計／(株)三澤屋建設
- 施工／(株)三澤屋建設

都市景観
ポイント賞

服部民俗資料館

控えめの中からのアピール



伝統的な町並みの中心にある建物を改修しました。今まで物置がわりだった部分を小さなギャラリーとして開放し、新たな親しみが生まれました。改修によりこの建物の持つ本来の魅力を最大限に引き出しています。

[幸町6-8]

- 建主／服部新助
- 設計／醸造建築研究所
- 施工／共和木材(株)

総評

今回の応募作を見ると、変容しつつある川越の中で、これまでまちのもってきた良き文化を意識した作品が目立ちました。川越のシンボルゾーンである蔵造りの町並みを取りまく部分の界隈性の高まりと共に、周辺部においてもまちのシンボルとなる景観が生まれてきていることが判りました。また、まちの歴史的に持つポテンシャルの高さの現れとして、明治以降の川越文化の一面である洋風建築が表彰作品に初登場しました。

どの作品もそれぞれに創意工夫された良質なアピールポイントを持ちつつ、周辺空間との調和を図り、地域への思いやりを感じられるものでした。こうした趨勢は、これからも是非大切にしていきたいと思います。

都市景観
デザイン賞

日本キリスト教会神学校・大会事務所

包み込むあたたかさ



白くそびえる塔を持つ教会堂は、無機的でシンボリックな空間となっています。それに対し、中庭を包み込む校舎群は、木の味わいを活かした温かさを感じさせる空間になっています。

〔吉田2-2〕

■建 主／宗教法人 日本キリスト教会
■設 計／(有)北海道建築工房
■施 工／(株)三澤屋建設

都市景観
デザイン賞

手打そば百丈

川越商人の意気が粋を残した



昭和初期に建てられたこの建物は日本の“看板建築”の代表作の一つです。アール・デコを感じさせる銅板貼りの外観は、川越商人の粋を表しています。川越商人の心意気が、小粋なこの建物を再生してくれました。

〔元町1-1-15〕

■建 主／手打そば 百丈
■設 計／中山秀明建築研究室
■施 工／(株)三澤屋建設

都市景観
ポイント賞

利剣堂並木印工房

新たなる老舗の装い



大正浪漫夢通りに新たな町屋が生まれました。それまでの四角い建物の部屋を削って町屋を作りだしました。その装いは、老舗そのものです。

〔仲町1-32〕

■建 主／(有)利剣堂
■設 計／(有)醸造建築研究所
■施 工／共和木材(株)

都市景観
ポイント賞

川越今泉郵便局

記憶の継承



郊外に建つ瀟洒^{しょうしゃ}なこの建物は、歴史のある古市場地区から移転して新築したもので、過去からの連続性が意識されています。現代的表現ながらも外観、内装共に川越の歴史を強く意識したデザインとなっており、訪れる人を楽しませてくれます。

〔今泉152-1〕

■建 主／熊井逸郎
■設 計／(株)ニッテイ建築設計
■施 工／太平住宅(株)首都圏本部

都市景観
ポイント賞

大野屋洋品店

優しさと大正浪漫の共鳴



大正浪漫夢通りに新たなまちづくりが始まろうとしています。昭和5年に建てられたこの建物の改装デザインは、小規模店舗ではめずらしい公募で決まりました。そのデザインは、女性の設計による優しさと、大正浪漫の持つそこはかない華やかさが感じられます。

[連雀町13-10]

- 建主／大野三吉
- 設計／中田清兵衛建築設計事務所
- コンペ企画／川越銀座商店街振興組合
- 施工／(株)三澤屋建設

都市景観
ポイント賞

吉源

歴史的町並みへの連帯



歴史を色濃く残す一角に新しい町並みが生まれました。蔵造りを強く意識し、在来工法との調和をはかった外観は、歴史的町並みとの連続感を作っています。

[喜多町3-2]

- 建主／(有)吉源
- 設計／澤野建築設計事務所
- 施工／丸ネ木材(株)

都市景観
ポイント賞

小江戸巡回バス

川越の街に懐かしさを乗せて



赤と緑を基調とした2台のボンネットバスは、川越の町並みに溶け込んでいます。まるで、昔からそこを走っていたかのように、まちを訪れる人々の重要な足になるとともに、新たな思い出も乗せてくれることでしょう。

- 企画主／イーグルバス(株)

総評

今回の応募作を見ると、景観に対する意識が外観の美しさだけでなく増えてきたように感じられました。郊外に建つ建築のなかには、地域のシンボルとなるだけでなく、そこを訪れる人に温かさを感じさせるような建築も生まれだしはじめました。また、設計者の選定方法が工夫されたものや、使い方の提案と一体となったものなど、景観のあり方に対する新たな視点として、ソフトと一体化した応募作品が目立ちました。

デザイン的にすぐれた建築でも、その良さが発揮できるかは使い方次第であるということが話題になり、昨今の良い景観とは、見た目だけでなく、その活用をどうしていくかといった点も重視されるようになってきたと言えると思います。

都市景観
デザイン賞

い も 膳

18年にわたる町づくり



さつまいもという食材にこだわりながら、18年前に本店から始まった建築は、その後資料館やピヤホールなどを増築し、蔵のイメージを継承した現代の和風建築群として、一つの町並み景観を形成しました。

[小室15-1]

■建 主/㈱いも膳
■設 計/ENE建築設計室
■施 工/㈱山崎蔦工業

都市景観
デザイン賞

松本醤油商店

伝統に新たな刻印を刻む



蔵造りの町並みの裏通りに位置するこの店蔵は、180年にわたる歴史の刻印を残しながら再生されました。脇に立つちよっとおしゃれな赤い屋根の建物は、商標の「亀甲本」に由来した六角形で、この空間を魅力的なものにしています。

[仲町10-13]

■建 主/合名会社 松本醤油商店
■設 計/㈱第一建築設計事務所
■施 工/㈱若海工務店

都市景観
ポイント賞

一番街創作門松

正月を飾る粋の世界



川越を代表する景観、「蔵造りの町並み」に新たな魅力が加わりました。正月の風物詩、門松をこの町では粋な心で表現しています。それぞれのお店の屋号や商品などの特徴を活かして飾られています。

[一番街周辺]

■建 主/川越一番街商業協同組合
■設計・施工/植鍋五代目 小峯吉衛

都市景観
ポイント賞

広済寺参道

歴史をつくる参道の装い



金毘羅堂を始めとする文化財と様々な伝承の伝わる古刹、広済寺の参道が整備されました。瓦屋根を頂いた板塀は、山門や鐘楼などと伽藍を構成し、境内の景観の魅力を増してくれました。

[喜多町5-1]

■建 主/宗教法人 広済寺
■設計・施工/丸ネ木材(株)

都市景観
デザイン賞

日本聖公会川越キリスト教会 会館・牧師館

素材を活かした控えめな表現



新しい会館は、古い煉瓦造りの教会の魅力を引き出すかのように控えめに配置されています。また、コンクリート打ち放しという外観は、煉瓦という素材と共演しながらもこの2棟の間に緊張感をもたらしています。

[松江町2-4-13]

■建主／宗教法人 日本聖公会北関東教区
 ■設計／モノプラン
 ■施工／岩堀建設工業㈱

都市景観
デザイン賞

ミュージション川越

都市居住空間への提案



柱や梁を使わないことで実現した壁面いっぱいの大きな窓が、この建物に開放性と明快さを与えています。また、音大生向けに計画された高い遮音性能とともに、約4mという天井の高さは、マンションという都市居住空間に対する新たな提案です。

[協田本町23-12]

■建主／㈱リプラン
 ■設計／手塚貴晴＋手塚由比／手塚建築研究所＋AOI設計
 ■施工／㈱佐藤秀

都市景観
ポイント賞

埼玉県立川越高等学校門柱

モニュメントとしてのゲート



開校100周年という記念すべき年に改築されたこの門柱は、単なるゲートとしての機能に留まらず、芸術性高い作品です。学校のシンボル「くすのき」を背景にモニュメンタルなものになりました。

[郭町2-6]

■建主／埼玉県
 ■設計・施工／㈱環境美術研究所

総評

今回の応募作を見ると、地域住民や学生の創作活動のなかから生み出され、周囲の環境と一体となった歳時記を彩る作品が新たに加わりました。都市景観の創出はただ単に物を作るだけでなく、人々の生活活動との関わりが深くなってきています。

景観と人との共演が、心に残るまちづくりに重要となっていくことでしょう。

また、今回惜しくも入選を逸した作品のなかに注目すべきものがありました。「サンクス時の鐘店」です。コンビニエンスストアは全国画一的なデザインが原則ですが、蔵造りに敬意を表したデザインを採用し、町並みへの配慮がみられます。伝統的建造物群保存地区内ということもありますが、関係者のご英断に称賛を惜しみません。

一方で、最近町中には伝統的なデザインといっても、川越の伝統に馴染みのない細部のつくりを採用したのが見受けられるようになりました。ただ伝統的な町並みというだけでなく、川越の固有性をより深く理解していただくことを期待します。

都市景観
デザイン賞

元町郵便局局舎&中村邸

町づくりは連歌のごとく



この2軒は、同時に建て替えられました。黒い壁や瓦屋根など両者は似ていながらも、郵便局と住宅という使われ方の違いが、プロポーションやデザインに表現されています。それがまた、独特の調和を醸し出し、この町に溶け込んでいます。

〔元町2-2-2、3〕

元町郵便局局舎
■建 主／局長 戸田隆彦
■設 計／(株)ニッテイ建築設計
■施 工／太平住宅(株)

中村邸
■建 主／中村信裕
■設 計／M & S 建築設計室
■施 工／(株)かさまりピン

都市景観
デザイン賞

古谷の舎^{いえ}

屋敷林に抱かれるように佇む住宅



日本の伝統的な材料や木割りを生かしながらも、現代建築としての明るさを兼ね備えた住宅ができました。低めの軒がすっと伸び、気持ちのいい空間を創り出しています。屋敷林に抱かれた心地よい建物で、2面あるアプローチもそれぞれが表情を持っています。

〔古谷上〕

■建 主／松本正興
■設 計／川崎君子建築事務所
■施 工／(株)内田産業

都市景観
ポイント賞

大正浪漫夢通り 街路灯

町の脇役を心得た街路灯



電柱が地中化された町並みにとって、街路灯は重要な景観要素です。この街路灯は、大正浪漫という町づくりのコンセプトに合わせてデザインされました。昼はさりげなく佇み、夜はその明かりによって存在感を示すという、町の脇役を心得たストリートファニチャーです。

〔大正浪漫夢通り〕

■建 主／川越銀座商店街振興組合
■設 計／(株)アール・アイ・エー東京支社
■施 工／(株)関電工埼玉支店

都市景観
ポイント賞

うなっ子 水際空間

まちに与えた潤いの水辺



狭いながらも、掘割を設けることによって水を効果的に使っています。また、角地という立地を生かし、植栽や石組み、腰掛などを効果的に配置し、養寿院門前の賑わいを演出しています。親水空間がほとんどない川越の市街地にあって貴重な水辺を提供してくれました。

〔元町2-10-6〕

■建 主／(有)いも膳
■設 計／ENE建築設計室
■施 工／(有)山崎高工業

都市景観
デザイン賞

サミー株式会社 川越工場

一点の涼を創り出す工業団地への提案



工場という生産の場に、都市文化を感じさせる建築が生まれました。しっかりしたディテールに裏付けられたガラスのファサードと、前面に広がる豊かな植栽の対峙が緊張感を生み出しています。また、鉄道からの見えかきも考慮されているなど、工業団地のイメージを一変させる建築です。

〔南台1-10-8〕

- 建 主／サミー(株)
- 設 計／(株)熊谷組首都圏一級建築士事務所
- 施 工／(株)熊谷組首都圏支社北関東支店

都市景観
デザイン賞

中成堂歯科医院

時代を映した医院建築



大正時代に建てられた医院建築が甦りました。かつて使われたことのある色相を用いながらも、思い切って明るくすることによって、大正時代の華やかさと現代の町並みとしての明るさを取り戻しました。川越の新しい名所の誕生です。

〔幸町13-5〕

- 建 主／院長 中野文夫
- 設 計／醸造建築研究所
- 施 工／日本瓦斯(株)

都市景観
ポイント賞

喫茶房しのん 足元周り

さりげなくまちづくり



なにげなく置かれた植木鉢、看板や窓、扉のどれをとってもなんのてらいもありません。町を歩く人々を、暖かく迎え入れようとする主人のやさしい心遣いが感じられます。住んでいる人のちょっとした工夫が身近な景観を快適なものにしてくれた好例です。（現在は別の店舗になっています。）

〔宮下町1-1-4〕

- 企画・製作／篠崎徹夫 篠崎高子

総 評

今回の作品をみますと、日常生活の延長にあるような、外周や足元の設えが目に付きました。それらは都市景観という視点からいうと、設計者だけでなく建て主の考え方や使う人の意識によっても町が変わっていく好ましい例を示しているといえます。

惜しくも入選を逸しましたが、丸田邸の外構のように住んでいる人のちょっとした工夫が町に潤いを与え、快適な景観をつくっていきます。吉野邸は、創意工夫に満ちた住宅で、最後まで議論の対象になった挑戦的な作品です。日本バプテスト川越キリスト教会もまた、木を生かした内部空間、まくら木を使った柱など親しみやすい暖かな作品で、建築として高い評価を得ました。中には頑張りすぎて、景観としてはかえって逆効果になったものもあります。

ここ数年、伝統的な建物の活用だけではなく、新しい建物も品格や落ち着きのあるものが増えており、川越の都市景観の向上に役立っています。

都市景観
デザイン賞

太陽軒

甦る大正ロマンの洋食店



川越を代表する洋食屋さんが生まれ変わりました。つくられたのは昭和初期ですが、角入りのちょっとしゃれたこの建築は、川越モボ、モガが集ったことでしょう。小割にされた色ガラスの窓を再現し、当時の時代背景を織り込んだ平成のデザインで、懐かしさを感じさせる新たな食の名所の誕生です。

[元町1-1-23]

■建主/㈱太陽軒
■設計/照井春郎+東海大学羽生研究室
■施工/丸ネ木材㈱

都市景観
デザイン賞

学校法人**三室戸学園** 東邦音楽大学
グランツァール

未来へ拓く音楽ホール



希望に満ちた若き音楽家たちにふさわしいデザインの建築です。音楽ホールの巨大な空間をアルミパネルで軽快に仕上げ、入口付近の曲面は宙に浮き、分節された壁面とともに拓かれる未来を感じさせるモニュメンタルな輝きがあります。このホールから飛翔していく音楽家の活躍が楽しみです。

[今泉84-1]

■建主/学校法人 三室戸学園
■設計/㈱野生司環境設計
■施工/大成・山口建設共同企業体

都市景観
デザイン賞

味の店 いせや

平成と出会った大正浪漫



低層部は、昭和8年建築のお隣と連帯感をもってデザインされ、大正浪漫の町並みと連携しています。一方、3階のヴォールト屋根は銅板ですが、木を立体的に組み上げた構造を内部に見せています。町並みに同調しながらも埋没しないデザイン精神は、現代に生きる建築としての姿勢を見せています。

[連雀町13-6]

■建主/藤井 修
■設計/守山登建築研究所
■施工/日清建設㈱

都市景観
デザイン賞

F Gallery

伝統的な町並みの言語を使った現代建築



伝統的な町並みに、同化を図るのではなく、対峙することによって町並みと共生する建築になっています。伝統的蔵造りの町並みの構成ルールを守りながらも、使用材料は現代的なコンクリートやガラスを用いて空間構成を行っています。町並みの精神を継承しながら新しい風を吹き込んでいます。

[元町2-2-1]

■建主/船津 的美・船津 紀子
■設計/K計画事務所
■施工/増田建設㈱

都市景観
デザイン賞

特別養護老人ホーム 真寿園

地域との共生を目指して



住宅地側では分節化と植樹によりスケール・ダウンを行い、雑木林側では開放的な空間にして環境との一体化を図っています。周囲への気遣いは、住人への配慮とかさなって、内外ともにヒューマンスケールが生かされています。きっと、地域からも愛される施設になることでしょう。

[安比奈新田292-1]

■建 主／社会福祉法人 真寿会
■設 計／(株)共同建築設計
■施 工／岩堀建設工業(株)

都市景観
デザイン賞

齋藤家 伊勢安

再現された河岸問屋



新河岸川は、川越経済を支えた江戸との大動脈でした。そこに、300年を超えて栄えた河岸問屋の建築が再現されました。新築ですが往時の面影を忠実に受け継いで、残された土蔵とともに河岸の景観を豊かに感じさせます。名家の誇りが新たな伝統を次の時代へとつないでいきます。

[下新河岸45]

■建 主／齋藤 文夫
■設 計・施 工／(株)坂爪工務店

総 評

今回の作品を見ますと、景観のもつ意味が浸透してきている感じが感じられ、心強く思います。そして幅も広がっています。伝統的建物の再生、記憶の継承を図った建築、町並みを読み現在へ転化した建築、未来への指向性を打ち出した建築など、時間的・空間的にさまざまな広がりを見せています。

そうしたなかで、町並みの構成ルールを守りながらその現代的解釈でデザインした F Gallery はその新しい景観意義が論議を呼びました。環境と景観の関係は、同化、調和、対峙がありますが、それぞれのあり方で環境に向かい合った今回応募された建築たちは、まちに住む人、訪れる人に豊かな情感を与えてくれます。

そして、規模の大小に関わらず、さまざまな用途の応募作品があったことは、景観先進都市・川越の面目躍如たるものを感じさせてくれます。

都市景観
デザイン賞

茶陶苑 大蔵

江戸の響き、再び



白漆喰仕上げの美しい外観を持つ川越の中でも最大級の土蔵が、復元修理によりライブ演奏を行えるアート空間となって再生しました。全面復元された大屋根は、現在のいぶし瓦の技法を用いながらも古瓦のまだらな雰囲気を作り出す事に成功し、新しく付けられた前庇も蔵に同化した装いで、時代を超えた技の共演を感じさせます。

[仲町2-6]

■建 主／亀屋山崎茶店
■設 計／(有)リョウ建築事務所
■施 工／(株)松村工務店

都市景観
デザイン賞

川越菓舗 道灌

町屋でほっと



老舗のお菓子屋さんが通りに憩いの空間を提供してくれました。広めに取りられた下屋にはベンチが置かれ、季節を問わずほっとする風がそよぎます。ついスケール感を失いがちな幅広い通りに、和風のデザインとやさしい木の感触が、かつての川越城内であることを思い出させてくれます。

[郭町2-11-3]

■建 主／山田 政之
■設 計／ENE建築設計室
■施 工／関古工務店

都市景観
デザイン賞

川越ベーカリー楽楽

町家のニューウェーブ



リズムカルな格子と木太い建具にバランスの良い腰巻が、町家への斬新な提案に絶妙な安定感を与えています。美味しいかおり漂う町のパン屋さんは、シンボルツリーを配した広場をとりこんで町中に憩いの空間を提供してくれました。伝統的な町家の形式をモダンにまとめたデザインは伝統の町に新しい風を運んでくれます。

[元町2-10-13]

■建 主／川越ベーカリー楽楽
■設 計／静水舎
■施 工／(株)三澤屋建設

都市景観
ポイント賞

川越八幡宮の参道

参道のイメージアップ



古くから曲がりの演出を持つこの参道は、夜はライティングにより足下の石畳と朱色のコントラストを強調しながら、入口からはうかがい知れない本殿のシルエットへと誘ってくれます。商店街からも愛される町中の神社にふさわしいおしゃれな参道がまちに奥行きと品格を与えてくれました。

[南通町19-1]

■建 主／川越八幡神社
■設計・施工／三光建設(株)

都市景観
デザイン賞

幸すし 乾蔵

川越の新しもの再び



時代の違う二つの蔵が見事に再生されました。明治35年の蔵造りに増築された大正のモダンな蔵は、ショーウィンドウをいち早く取り入れるなど時代時代で新しいものを取り入れた川越の商人気質を表す代表格と言えるでしょう。石造風の洋風意匠を施した大正蔵に復元された馬通し(中央道路)には、裏通りへと続く通り抜けへの誘惑が漂います。歴史の重層がみごとに表現されています。

[元町1-15-4]

■建 主/㈱幸すし
■設 計/釀²建築研究所
■施 工/岩堀建設工業㈱

都市景観
デザイン賞

株式会社マツザキ(酒類販売)

作法を心得た確かな演出



コンクリート打放しの現代建築でも、まちとの文脈を考えて植栽などでやさしくつなげ、コンクリート目地幅や間隔、窓のプロポーシオンを整えることによって、まちとの違和感がない、というよりこれから周囲の環境もこれに倣って欲しいという建築に仕上げています。建築とまちの作法を心得たデザインの建築です。

[新宿町1-24-8]

■建 主/㈱マツザキ
■設 計/杉浦 英一建築設計事務所
■施 工/川木建設㈱

都市景観
ポイント賞

ヘアサロン銀パリ&本の店太陽堂

手渡された町づくりのバトン



隣り合う2つの商店が18年の歳月を経て共に揃い、町に安堵感を与えてくれました。それぞれに趣の異なるファサードながら、先に改装された書店へ敬意を感じさせるこだわりの理髪店の看板と、一對の影盛りが絶妙な統一感を感じさせ、時の鐘からの絶好のアイストップとなっています。町の人の連続性へのこだわりが見事に開花した実例といえるでしょう。

[幸町7-24、25]

■建 主/銀パリ・本の店太陽堂
■設 計/㈱創美・㈱舞総合設計
■施 工/㈱創美・共和木材㈱

総 評

今回の作品を見ますと、川越の持つ伝統的なスタイルを保つだけでなく、伝統をうまく改め活かしていくというスタイルの浸透が感じられます。大正から昭和にかけて、洋風文化をうまくデザインに取り組んだ建物が流入したごとく、まちづくりの取組みの中で、町家のニューウェーブともいえるような洗練された現代建築も現れ始めました。保つことの大切さを圧倒的なスケールで教えてくれた茶陶苑や、歴史が重層していく様をきちんと解き示した幸すし乾蔵、その様変わりぶりに驚かされた銀パリの看板などの、伝統的な形式の建物に安心感を受けつつも、(株)マツザキのような現代建築の中にも川越の地の利を理解した見るべき作品の登場にもうれしさを感じます。参道や休憩場所としてまちに元気を与えた心意気が評価されたほっと景観もありました。古い建築を保存しながら、それを尊敬するかたちで新しい建築が参加してることが、これから川越の深みがあり品格あるまちづくりに寄与すると思われます。そうした傾向が感じられるようになってきたことは、大変好ましいことです。

都市景観
デザイン賞

川越一番街商店街 街路灯

夜に際立ってこそこの街路灯



街路灯としての自己主張をそぎ落とし、町並み景観のなかに溶け込むよう配慮している姿が評価されました。夜の景観が見事で、訪れる楽しみがまた一つ増えた、ともいわれる一番街の街路灯です。

〔川越一番街〕

■事業主／川越一番街商業協同組合
■設計／川越一番街街路灯委員会
■施工／岩崎電気(株) さいたま営業所

都市景観
デザイン賞

小谷野家住宅

町屋の上品な所作



一番街の札の辻近くにあり、町並みの連続性を意識し、修景を平成17年度に行いました。蔵造りとは一味違う木肌の温もりがあり、大変上品な町家建築に仕上がっています。

〔幸町10-4〕

■建主／小谷野 純一
■設計／ENE建築設計室
■施工／(株)創美

都市景観
デザイン賞

割烹さゝ川

和風の心地良さ



川越スカラ座の真向いにあり、門を入ると竹林の蒼さが映える和風建築です。時間をかけながら、自らのスタイルを景観に投影していこうとする努力が見受けられる建物です。

〔大手町5-19〕

■建主／(株)さゝ川
■設計／(株)創美
■施工／(株)創美

都市景観
ポイント賞

酒処 笑庵

上質の隠れ家空間



蓮馨寺の北参道に位置し、隠れ家的な空間を作り出している、正にポイント賞にふさわしい作品です。商売柄、夜間の演出がメインとしても、昼の間も洒落た小道の好景を見せてくれます。（現在は別の店舗になっています。）

〔連雀町32-1〕

■建主／山口 君江
■設計／鈴木 修
■施工／宮前工務店

都市景観
デザイン賞

松本醤油商店醸ん楽座

境界を醸し出す景



寺町通りの南の入口に位置しており、市指定文化財の蔵造りや古い醸造蔵を活かしながら、景観に配慮した近代的な打ち放し建物が加わり、新しくも懐かしい境界をつくり出しています。

〔仲町10-13〕

■建 主／㈱松本醤油商店
 ■設 計／㈱第一建築設計事務所
 ■施 工／岩堀建設工業㈱

都市景観
デザイン賞

山吉ビル

よみがえりし近代洋風



一番街の南に位置し、長らく荒廃していた姿でしたが、新たなシンボルとして見事に再生されました。我が国初の住宅作家としての評価が高まりつつある、大正時代に活躍した保岡勝也の商業建築の復原としても意義の高い建物です。

〔仲町6-6〕

■建 主／山吉商事㈱
 ■設 計／守山登建築研究所
 ■施 工／川木建設㈱

都市景観
ポイント賞

自宅の堀

由緒正しき日本の堀



笠幡駅の東、南小畔川沿いの道路を挟んで、瓦や板を使って透し囲いを作る日本の伝統的な木造の堀です。周りからの視線を閉じるのではなく、パブリックな場面として見せる工夫をした好事例として、評価されました。

〔笠幡〕

■建 主／發智 秀雄
 ■設 計／(有)梅園中央製材所
 ■施 工／(有)梅園中央製材所

総 評

柔らかなスタイル継承

今回の応募作品・受賞作品には、横丁の隠れ家的な雰囲気や、これ見よがしではない伝統的な造作など、古き良きスタイルと新しさを相対させ、「柔らかに多様化する」といった風情の作品が多く見受けられました。これからの川越のまちづくりには、一番街などの町並みを中心とした線だけでは無く、むしろ脇道や横丁を含めた面への拡がりが必要と思われますが、こうした川越スタイルの拡がりを予見する表彰結果となりました。また、特記すべきは、拡がりが住民参加によるイベントを通して見られる点にあります。惜しくも受賞には至りませんでしたが、小学生の参加作品や大学生参加作品もあり、それらは景観が一步一步町の中に浸透している現れでもあります。こうした動きに注目し、守り育てて行くことが、まちづくりには欠かせないと考えます。

都市景観
デザイン賞

小路にたたずむ家

感性を育む伝統的構法のすまい



木と漆喰の自然素材を活かしたすっきりとした外観は、見え方だけでなく、見られ方にも細かな配慮が施されていて、好感が持てます。細い小路の先に現れるシンプルな住宅建築は、木と漆喰の調和、絶妙な間隔の木格子の用い方、ていねいに計画された階高のバランス、手すりの高さ、どれを取ってもデザイン性の高さが感じ取れます。

[末広町]

■建 主／宮本 英行
■設 計／(有)綾部工務店
■施 工／(有)綾部工務店

都市景観
デザイン賞

学校法人 **三室戸学園** 東邦音楽大学
70周年記念館

プロポーションに現れた音律



デザイン性、施工精度ともに大変秀でた建築です。校舎という概念を超えるプロポーションの良さと優れたプランニングにより、音楽大学の複雑なカリキュラムにおいて要求される機能性をも、デザインの要素としてリズムカルに仕立て上げています。3つに分かれた棟は、一見窮屈そうに見えますが、実際には計算されつくした空間構成であることが解るでしょう。

[今泉84]

■建 主／学校法人 三室戸学園
■設 計／(株)野生司環境設計
■施 工／大成・山口建設共同企業体

都市景観
ポイント賞

tricycle cafe

看板とは看せる板である



看板となっている庇の上に載せられた三輪車の軽やかさと、木のバランスが絶妙です。節のある板を使って個性的な外装に仕上げる上で、部材のバランスを取るため、故意に節を描いてみるなど、細かい部分までデザインされています。金属の扱い方もうまく、町中のしゃれた景観のあり方の一つとなっています。

[菅原町19-5]

■建 主／井上 太一
■設 計／鈴木 修
■施 工／宮前工務店

都市景観
ポイント賞

新河岸川・桜まつり

花見の頃の醍醐味



現在の新河岸川的美しさと、川遊びの楽しさがストリートに伝わってきます。木を用い、人工でありながらも自然的な護岸整備は、桜の時期だけでなく、一年を通して豊かな趣を醸し出し、全体としてバランスのとれた都市景観と言えるでしょう。桜まつりというポイントに絞った新河岸川を楽しむ姿が評価されます。「もの」であり「こと」でもある景観です。

[宮下町2丁目]

■事業主／新河岸川を守る会

都市景観
デザイン賞

Market TERRACE

樹林との上手な共生関係



自然樹林を活かした川越卸売市場の施設環境に相応しいデザインのレストランが誕生しました。軽やかでシャープな庇の美しさや、ガラスを用いてテラス席を抜ける見通しの良さが、通りから見て緑の繋がりを断ち切る事なく、上手に収まっています。通り抜けが可能な入口部分は正面からの見え方も良く、デザインの良さが光ります。

[大袋650]

■建 主／㈱聡研プランニング
■設 計／窪田建築都市研究所(有)
■施 工／岩堀建設工業(株)

都市景観
デザイン賞

大和屋 川越時の鐘店

ハレやかなる伝統美



伝統的な町屋の再生ながら、賑わいに効果的な新しいデザインの提案が行われています。幅の広いガラスを取り入れた開放的な正面建具からは、通りに活気が溢れ出てはいますが、決して町並みのルールからはみ出してはいません。のれんや看板のデザインも建物とのバランスを壊す事なく、さりげない主張を見せています。（現在は別の店舗になっています。）

[幸町8-3]

■建 主／滝島 英子（㈱大和屋）
■設 計／数野工務店
■施 工／数野工務店

都市景観
ポイント賞

松岡種苗店 看板

新しもん好きの伝統



川越らしさを受け継ぎながら、新しい趣向へとチャレンジした様子が伺える楽しい看板です。そら豆から芽生えた二葉と協調するように、明るい色相の軽い金属素材を屋根に用いたデザインには、古さと新しさを同居させるうまさを感じます。統一感をもたせながら特徴づけがスマートに行われており、景観ポイントとして評価できます。

[幸町8-4]

■建 主／松岡 靖浩
■設 計／㈱創美
■施 工／㈱創美

総 評

今回の受賞作品はバラエティに富んでいました。そしてデザインの優れたものが選ばれましたが、それぞれの環境をどう生かし、どう生かされているかが選考のポイントになりました。住宅環境、教育環境、自然環境、都市環境など、環境にはそれぞれの面があります。それぞれに相応しい対応が、景観としては必要なのです。

まちかど審査もたいへん参考になり、選考に寄与しました。ただ、写真選考のみですと、どうしても写真の上手なもの、スケールの小さいもの、空間的に優れているものより単体でインパクトのあるものが有利になりがちです。選考委員会では写真選考の後、16点について現地審査をしました。そうすると環境との関係や、空間の豊かさ、デザインの良さ悪さが、改めて分かってきます。また恒常的に存在する「もの」と、時間が限定された行事などの「こと」との関係はどう評価するかも選考委員会で議論されました。

皆様も機会をつくり、景観表彰で選ばれた作品を見ることをお勧めします。そうした感覚を市民が共有することによって、川越の景観はよりよくなっていくと思います。

都市景観
デザイン賞

長峰園（藤井屋）

甕の札の辻の景観



建物の表を隠していた壁が取り除かれ、伝統的な往時の姿を取り戻しました。復原にあたっては、わずかに残された材料と痕跡を丹念に読み込んでいます。棟の片側に鬼瓦を乗せなかったところに、隣家と長屋だったころの記憶を表現しています。伝統的建造物の良さを熟知した復原により、札の辻の景観が甦りました。

[元町2-2-5]

- 建主／嶋村 俱子
- 事業主／農業生産法人株式会社 長峰園
- 設計／共和木材建築設計室
- 施工／(有)藤井工務店

都市景観
デザイン賞

出窪家店舗（新井武平商店）

板葺屋根も伝統



明治の大火前はもちろん、大火の後も杉皮葺きの町家が数多く建っていました。この店もその一つで、今では難しくなった板葺の復原に果敢にチャレンジしてくれました。蔵造りの重厚さからはかけ離れた存在ですが、板葺への挑戦にも意義があります。デザイン密度の高さによって、小さいながらも存在感のある作品となりました。

[幸町7-22]

- 建主／出窪 朱美
- 事業主／(有)新井武平商店
- 設計／守山登建築研究所
- 施工／黒木工務店

都市景観
デザイン賞

聞信会館

町並みを重層する建築



川越で西洋風の先駆けとなっていた建築が、再生されました。人造石洗い出し仕上げの壁面には、鍍細工による文様や軒蛇腹、小さな細工まで見事に再現されています。当初もさることながら、この復原に携わった現代の左官の腕前も見事です。蔵造りや旧八十五銀行とともに、時代を重層する建築がそろいました。

[幸町2-14]

- 建主／宗教法人法善寺
- 設計／匠建設計
- 施工／(株)三上工務所

都市景観
ポイント賞

風凛 ふうりん

奥へといざなう



蔵造りの脇の狭い路地を抜けると突然現れる玄関。路地と住まいという往時の関係をそのまま活かしたお店です。入りにくく店舗としての活用が難しい町家の奥を逆手に取って、庭も生かし落ち着いた大人の空間に仕上げました。表通りの喧騒とは対照的に、自然の趣と静かな時の流れを体感させてくれます。

[仲町6-4]

- 事業主／(有)SLBカンパニー

都市景観
デザイン賞

川越の家

地域のランドマークとなる住宅



塔状のボックスが象徴的ですがそれ程高くなく、それをリシン掻き落とし、外壁を焼杉板にすることによって、景観に寄与しています。少ない開口は、家族を外界から守るシェルターの機能ですが、外構に緑を見せることで狭いながらも地域に開かれています。戸建て住宅地の、新たな解を示してくれました。

[小仙波町]

■建主／栗生田 晃一
 ■設計／(株)手嶋保建築事務所
 ■施工／堀尾建設(株)

都市景観
デザイン賞

ヤオコー川越美術館

抑えられた造形美



わずかな開口だけで一切の装飾を排除したこの建築は、水と緑の中に屹然とたたずんでいます。この造形とコンクリートの質感は、周囲の住宅地の景観から突出しても不思議ではないのに、違和感なく溶け込んでいます。氷川の杜から新河岸川を渡り、ゆるやかに弧を描く何気なく気持ちのよいアプローチは、人々を自然に導いていきます。

[氷川町109-1]

■建主／ヤオコー川越美術館
 ■設計／(株)伊東豊雄建築設計事務所
 ■施工／大成建設(株) 関東支店

総評

今回の応募作品も、自動販売機から伝統的建造物の改修、そして現代建築というようなバラエティに富む内容でした。住宅系では、色彩や造形が工夫されたりアプローチを充実したりと、景観の向上により、住まい手の個性に訴えかけようとするものが増えています。

惜しくも選定を逃した作品の中には、市民投票で多くの支持を集めた作品もありました。しかし、写真だけでは分かりにくい周囲との関係や、作品そのもののデザイン精度等から受賞に至りませんでした。

最後まで議論が分かれたのは、伝統的建造物の改修事例です。これまでも多くが顕彰され、良質な事例の蓄積があることから、審査にあたっては、周囲との関係を含め、伝統の意味をしっかりと把握し、細心の注意を払った提案性のある作品が受賞となりました。伝統的建造物は、単に改修すれば良いのではなく、単体としての完成度の高さが要求される時代に入ったことを実感いたします。

また今回は、都市景観表彰をどうとらえるかという点も改めて議論されました。専門家の視点だけでなく、幅広い視野が必要であること、作品が及ぼす影響をポジティブに考え、次につなげていくことの重要性が議論されました。斬新であるがゆえに、地域の景観から孤立して見える作品も、本質的に優れた作品は評価すべきで、これが手本となって、将来の地域のまちづくりにつながることを期待したいとの意見が多くありました。

最後に、これら受賞した作品が周辺に良い影響を与え、これからの川越を創ってくれることを望みます。

都市景観
デザイン賞

紋蔵庵（川越店）

現代の都市へ和の佇まい



川越駅西口から国道16号方面に向かうと、しっくり調の白黒のコントラストの和の趣きをまとった建物が訪れたものを迎えてくれます。その姿は和菓子屋さんに相応しい落ち着いた雰囲気醸し出しています。建物の正面に坪庭を設けるなど、街路空間のつながりにも配慮がされ、現代の都市空間の中に和のテイストをさりげなく入り込ませました。

[旭町1-2-41]

■建主／(有)亀屋紋蔵
■設計／(株)匠
■施工／日商建設(株)

都市景観
デザイン賞

NJ昭和館

昭和のかおりを受け継ぐ



蓮馨寺の正面、中央通りと立門前通りとの角地に「川越水族館」の通称で地元で親しまれていた建物が、レトロなたたずまいで復活しました。角地であるがゆえ、曲面で表現された既存の建物の特徴を生かし、白い窓枠やタイル張りの外観は、個性のかつ現代的な表情の中に、この建物が生まれた昭和モダンのかおりを感じさせてくれます。

[連雀町10-1]

■建主／野尻みゆき
■設計・施工／(株)松村工務店

都市景観
ポイント賞

ギャラリーなんとうり

市民の手づくりによるまちづくりの試み



札の辻の近く、弁天横丁と呼ばれる一画はかつて芸者の置屋街でした。今やひっそりとした横丁にたたずんでいた7軒長屋の一画が、住居兼ギャラリーとしてリノベーションされました。ここでは、新たな文化発信の拠点を造ろうと、埼玉県助成を受け、自汗を流しながら改修を行いました。この試みは、横丁の魅力創出につながるだけでなく、本市の新たなまちづくりの動機の一つになることを望みます。

[元町1-16-4]

■企画・改修／NPO法人川越蔵の会
スタジオ羽65
麻利(有)

都市景観
デザイン賞

アールデコ（鍛冶小町堂）

昭和の賑わい、再び



昭和5年に建てられた洋風5軒長屋の1つが、往時の姿を取り戻しました。高度経済成長期にファサードが大きく改修されていましたが、復原にあたっては、わずかに残された当時の写真や痕跡を頼りに細部の装飾まで根気強く丁寧に再現されています。昭和初期の川越商人の活気溢れる新取性が鍛冶町横丁の景観に甦りました。

[幸町1-12]

■建 主／（有）川越ホーム
 ■事業主／鍛冶小町堂
 ■設 計／守山登建築研究所
 ■施 工／（株）松村工務店

都市景観
デザイン賞

HATSUNEYA GARDEN

伝統建築に駆け込む現代のセンス



川越を代表する名門料亭が、結婚披露宴もできるレストランとして生まれ変わりました。既存の伝統的なアプローチ空間を生かしつつ、現代的なセンスを融合させたカフェやレストランは、品良くまとめられています。伝統的な建造物を現代の飲食空間として洗練度高く活用した事例となりました。

[元町1-9-8]

■建 主／（株）C・B・H
 ■協 力／篠澤 浩
 ■施 工／（株）乃村工務社

総 評

今回の表彰では、現代的な建築が受賞していません。それというのも作品を評価するにあたり、その建物がどのように維持・保全されているかが重要な問題であり、時間の経過も踏まえて評価すべきではないかという議論がなされたからです。

そのひとつは商業系ビルを、いかに評価するかです。近年、市内に建築される現代建築は、これからの川越の景観をリードしていくような積極的なデザイン提案が盛り込まれた、レベルの高いものも増えてきました。しかし、商業系のビルについては、竣工時は美しくても活用状況によっては、建物の景観的な価値を大きく変えてしまうことがあります。商業系のビルは、建て主側だけでなく、使う側にも建物のデザインが持つ景観的価値を理解したうえで活用をする、という地域景観の形成に対する参加意識が必要となります。

これに関連して二つ目に、屋外広告物についての議論がされました。屋外広告物は、その建物の景観を印象づける1つの大きな要因となります。これまでも、看板そのものが、建物の価値を高める存在として景観賞を受賞した作品がありました。逆に、その規模やデザインによっては、建物の持つ美しさを著しく損ない、景観までも阻害してしまうこともありました。屋外広告物が建物に及ぼす影響を考慮すると、建物単体ではなく、その後に掲出される屋外広告物も含めて評価をしないと景観として正しい評価ができないと考えました。同様に建築外構も良好な状態が維持向上されるかが重要な要素です。今回の候補の中でも、現時点での評価は難しいのではと考え、次回の表彰審査に判断を見送り、改めてその完成後の状態を考慮したうえで評価した方がよいとされた作品があります。

今回、これらの議論がなされ、今後の都市景観表彰の審査基準について改めて考えさせられる節目の回となりました。今後の都市景観表彰では、時間軸を考慮に入れるなど、今まで以上に多岐にわたる視点から作品を評価することになると思います。そんなさまざまな視点から景観に対するアプローチを行った作品がたくさん誕生することを願っております。

都市景観
デザイン賞

金大幸町店舗住宅

鍛冶町横丁再生の連鎖



前回景観表彰受賞の『アールデコ鍛冶小町堂』に続き、昭和5年に建てられた洋風5軒長屋の一つが復原されました。路地奥に向かってアールデコのファサードが並ぶ往時の町並みに整えられたことで、各個店の魅力へ相乗効果を生み出しています。控えめながらも、大通りに集まりがちな視線を奥へと誘い、脇の道の魅力を引き立て静かに主張する建物です。

〔幸町1-5〕

■建主／(有)金大
■設計／守山登建築研究所
■施工／リゾートホーム(株)

都市景観
デザイン賞

氷川神社参集殿及びバス停

風鈴の音と共に溶け込む



氷川神社の向に残る立木の奥に、川越総鎮守の新しい伝統が生まれました。デザインは現代的ながら、素材に和の要素を取り入れることで地域に溶け込み、色彩的にもバランスが取れています。塀の延長に設けられた参拝者のためのバス停には、氷川神社の夏の風物詩となった風鈴が下げられ、木々の緑とともに涼を届けます。分棟化した建物構成やバス停に設けられたベンチが地域へ開かれた印象を与え、町並みに対する貢献が伺える建物です。

〔宮下町1-8-9〕

■建主／宗教法人氷川神社
■設計／一級建築士事務所 (有)レミングハウス
■施工／(株)シーアイ・ティーエス

都市景観
ポイント賞

連雀町 炭火やきとりもとはし 本店

記憶を繋ぐ絶妙なちょい足し



蓮馨寺の門前、中央通りに誕生した、人気の焼鳥屋さんです。昭和8年の中央通り開通に合わせて店舗長屋が立ち並んだ通りでは、「昭和の町」を合い言葉にまちづくりをスタートさせました。その取組に刺激を与えた建物です。古い建物を安易に建て替えるのではなく適度にリニューアルすることで、古い建物の良さを維持しつつ、新しいものの良さを付加し、魅力的な店舗に仕上げています。（現在は別の店舗になっています。）

〔連雀町7-2〕

■建主／蓮馨寺
■事業主／(株)一輝Corporation
■設計・施工／(有)田中工務店

都市景観
ポイント賞

菓子屋横丁防犯灯

深まる絆、ここに



平成27年6月の不幸な火災を乗り越え、横丁の絆がさらに深まりました。何度も検討を重ねる中で、ただ照らすだけの単純な防犯灯とせず、それぞれの店先に、デザインを揃えた常夜灯をつける手法を選択しました。防犯という点だけでなく、周囲の佇まいを壊さない形で照明が機能し、通りを歩く人をやさしく照らす様子が評価されました。

〔元町2丁目〕

■事業主／川越菓子屋横丁会
■企画／(株)エスケイ美創
■設計・施工／Tabiya

都市景観
デザイン賞

宮下町の町家

伝統への提案



閑静な住宅街に位置する現代的な住宅ですが、木の使い方が巧みで懐かしさを覚えるデザインです。間口の狭い敷地を上手に活かし、中はもちろん、外に対しても細やかな気配りが見られます。プライベートを重視しながらも周囲に閉鎖的な印象を与えない、伝統的な町家造りの特徴を上手に受け継ぐ、現在の川越住まいのための新しい町家が、宮下町に完成しました。

〔宮下町〕

■建主／太田 直敬
 ■設計／(株)K+Sアーキテクツ
 ■施工／(有)中壺商店

都市景観
ポイント賞

くるみ歯科・小児歯科

街道景観を健やかに牽引



川越所沢街道と河岸街道が交差する角地に、地域の景観を牽引する素敵な歯医者さんが新設されました。門や塀を設けず多面から見られる事を意識したデザインと、建物と一体的に表現したオリジナルのサインが好印象を与えます。交通量の多い街道沿いながら前面に配した緑地は、喧騒を忘れさせる落ち着いた印象を与えるとともに、周囲に安心感を与えてくれます。

〔中福394-1〕

■建主／細田 情二
 ■設計／みわ設計工房
 ■施工／(株)マヤマ

総 評

今回の表彰作品をみますと、単体建物としてのデザインの優秀さに加えて、周辺環境への影響力や町並みへの貢献度が選考のポイントにあったように思われます。これは、都市景観表彰の趣旨である、「景観づくりに対する模範となる行為への表彰」の意を今一度見つめなおしたもので、それぞれの作品の規模、立地、用途に対応した表現が、これからの川越市の都市景観を牽引するお手本になるものと期待しています。

何より印象的だったのは、今回の応募作品が、建築物に止まらないバラエティに富んだ内容となっていたことです。塀や看板はもちろん、樹木傘という全く新しい用途の工作物や、大学の教育活動など、これまでの都市景観という概念を超えて審査すべき作品も見られました。これらの傾向は、都市景観というものが市民に十分浸透し、都市景観の向上に寄与する対象が幅広くなりつつあるということだと思います。そうした傾向が感じられるようになってきたことは、都市としての文化の成熟度の向上を表すものと大変好ましく思います。

都市景観
デザイン賞

旧大工町長屋

動的な景観デザインの試み



長年空き店舗となっていた木造2階建ての三連長屋の内、交差点側の2棟がリノベーションにより、飲食店、コーヒースタンド等へ再生されました。
昭和の懐かしい外観はそのままですが、中に新しい町のアクティビティを持ち込むことによって再生したことが新鮮で、改修途上の表現としてのデザインが評価されました。一気に終点を目指すのではなく、中の活動も含めて、身の丈の再投資を繰り返していく成長過程を楽しむ景観となっています。
特に、夜には中の活動が通りに漏れ見え、ひっそりと佇んでいた交差点の風景を一変させています。

[連雀町27-1]

- 建主 / 株式会社80%
- 設計・施工 / 株式会社coto
- 設計協力 / maao
- DIY / 株式会社80% + お手伝いされた皆さま

都市景観
デザイン賞

龜屋栄泉 南亀楼

立地を活かす確かな演出



蔵造りの通りから長喜院に向かう路地の奥に新築された店舗併用住宅です。脇役になりがちな路地の魅力を理解し、個性を際立たせることに成功した建物です。

路地に沿って設けた長い軒下空間や、分棟化した屋根の配置が、長喜院門前通り線のスケール感にうまくマッチし、歩行者や店舗を利用するお客さんに丁度良い心地よさを与えています。路地向かいの店舗の中庭とも呼応し、広場のような開放感のある路地として新しい魅力が創出されました。

[幸町5-30]

- 建主 / 中島 文昭
- 設計 / 守山登建築研究所
- 施工 / 飯田建築有限会社

都市景観
デザイン賞

小島家店蔵

町住まいへの回帰



空き店舗となっていた店蔵が、新たな所有者を得て保存再生されました。
明治34年に建築された、大正浪漫夢通りの中央に建つこの店蔵は、高度経済成長期に当時流行りの店舗形態に改変され、通りを歩く人も歴史的建築物であることに気が付かないほどでしたが、外壁や建具、下屋までもが見事に復元されており、その違いに驚かされます。

当時の姿を取り戻したことで、分断されていた町並みの連続性が回復し、通りの歴史性が再生されるとともに、町に住もう楽しみを再認識してくれる建物です。

[連雀町13-4]

- 建主 / 小島 正巳
- 設計 / 共和木材建築設計室
- 設計協力 / 水谷意匠一級建築士事務所
- 施工 / 株式会社大滝建設

都市景観
デザイン賞

稲葉屋本舗＋吉仁製菓

ここから菓子屋横丁



平成27年6月に発生した菓子屋横丁の火災で全焼した6棟の内、東側3棟が、菓子屋横丁の入口角に建つ吉仁製菓と、それを囲むようにL字型に建つ稲葉屋本舗の2店舗に再建されました。火災により途切れた横丁の町並みと賑わいを取り戻すだけでなく、看板やベンチ、中庭を設け、人を招き入れるしつらえが通りに安心感を与えています。

火災の教訓を活かし、通り抜けの機能や防火性能を重視しながらも、賑わいの創出や景観に配慮した工夫が随所に見られ、まるで以前からそこにあったかのような親しみを感じさせます。地域と共に再建に取り組んだ経緯も含め、復興のシンボルとして語り継がれるべき建物です。

〔元町2－7－6〕

- 建 主／長井 和男・吉岡 勇
- 設 計／守山登建築研究所
- 施 工／久保建築・山善建設株式会社

都市景観
デザイン賞

氷川神社 旭舎文庫

時代と共に、地域と共に



「かどみせ」「さかうえ」の愛称で地域の子供達に愛された駄菓子屋が、「地域に開かれた読書館」としての機能を備えて生まれかわりました。

当初、菓子商として建てられたこの塗屋は、明治14年以前から氷川神社へと向かう通りの角に位置し、時代の移り変わりを見守ってきました。下屋下の歩行空間を確保するため、建具を内側にセットバックさせる工夫を施しながらも、それを感じさせない統一感のある色使いと丁寧なつくりが、昔を知る人にも変わらぬ愛着をもたらしています。真面目に復原修理に取り組んだ、関係者の思いが感じられる作品です。

〔志多町1－1〕

- 建 主／宗教法人氷川神社
- 設 計／守山登建築研究所
- 施 工／川木建設株式会社

総 評

今回の表彰では、新築、再建、復原、修理、リノベーションという、カテゴリー毎の代表作としてふさわしい5作品が都市景観デザイン賞に選ばれました。これは、選考された受賞作品の全てが都市景観デザイン賞であったことを意味し、応募作品の層が全体的に厚く、ポイント賞という枠に納まるものがないほど、完成度の高い作品が多かったためです。

特に、リノベーションという新感覚のカテゴリーについては、意匠的な創造性を評価することは難しいながらも、取組の経緯や事業内容を含めた存在そのものが、都市の再生を促すデザイン性があるとして評価されました。

受賞作品への全体的な評価軸としては、路地や角地、通りの連続性など、立地的特性を上手に作品内に取り込んだ「まち使い」に長けていたことが挙げられます。言い換えるならば、今、この場所にあるからこそ意味があるという視点を持った作品であると言えます。

平成の時代と共に歩んできた都市景観表彰も15回目という節目を迎えました。今後も、受賞作品の存在が町の中で意味のあるものとして成長していく過程を楽しみつつ、見届けたいと思います。

彩の国景観賞受賞作品

彩の国景観賞は、埼玉県が昭和62年度より毎年実施しており、川越市内からは以下の作品が受賞しています。



第3回景観賞 陶舗やまわ

川越には、蔵造りの建物が多く残っており、蔵造りの保存とまちづくりにむけて地元と市が一体となって取り組んでいます。

今回の改装は、閉鎖的なイメージを一新し、明るく、広い、快適な店舗空間を作りだし、周辺の景観向上へ与えるインパクトが大きいといえます。

今後の蔵づくりのまちなみへの示唆に期待できるものであります。

- 所在地／幸町7-1
- 建築主／(有)ヤマワ商店
- 設計／釀²⁹建築研究所
- 施工／共和木材(株)
丸ネ木材(株)



第4回景観賞 川越市立博物館

城下町川越の文化遺産を保存、展示するにふさわしい蔵造り風の博物館です。

恵まれた敷地によるゆったりとした前庭、日本瓦と白い壁が爽やかな景観を作り出しています。

川越市は、関東の代表的な城下町で、江戸の蔵造りを残す町並みとして、その景観保存に努力を続けているので、今後の整備に更に拍車がかかることが期待されます。

- 所在地／郭町2-30-1
- 事業主体／川越市
- 設計／
建築研究所 アーキヴィジョン
- 施工／佐田建設(株)



第6回景観賞 JA川越市本店事務所

蔵の街川越の郊外に建築されたこのJA（農協）の事務所は、のどかな田園風景が広がる環境に建築され、蔵のイメージと稲穂の波との調和を大切に設計意図が容易に伝わってくるものです。新しい感覚で表現された蔵も素直で、名実ともに農協からJAへ更なる旅立ちにふさわしいものになるとと思います。

- 所在地／今成2-29-4
- 建築主／川越市農業協同組合
- 設計／
埼玉県経済農業協同組合連合会
- 施工／初雁興業(株)



第7回景観賞 カトリック川越教会

街中の静かな環境の中に位置し、曲線と直線を折り込んだ屋根と幾何学的な白壁とで構成され、中央に旧鐘樓の形態を継承した尖塔が調和のとれたアンサンブルを織りなしています。

- 所在地／六軒町1-17-4
- 建築主／カトリック川越教会
- 設計／(株)中央建築設計事務所
- 施工／岩堀建設工業(株)



第8回景観賞 一番街電線地中化事業

保存、改修された蔵造りが軒を連ねる一番街で、市民、地元事業者、行政が一体となって、街並みの修復事業の難しさを克服して、地域の誇りとなる歴史的景観を取り戻しています。関係者の努力に敬意を表するとともに、今後は、広告物などへの対応も含めて、この街並み景観が更に育ち成長することを期待します。

- 所在地／元町・幸町・仲町地区
- 建築主・設計／一番街電線地中化事業促進会議(川越市／東京電力(株)川越営業所／日本電信電話(株)川越支店／(株)ゆうせん川越放送所／武州瓦斯(株)ほか)
- 施工／鉄建・初雁特別共同企業体／(株)関電工／(株)ジェイコス埼玉支店／昭和工業(株)



第9回景観賞 「金笛」笛木醤油

川越の歴史的面影が色濃く残る通りに位置し、隣接する重要文化財と調和した本格的な蔵造りの建物です。奥へ抜ける路地にも、伝統的手法と現代的手法を融合させた、「小江戸」の下町を感じさせる演出がなされており、伝統的街並みの保存と活性化に重要な役割を果たしています。

- 所在地／幸町10-5
- 建築主／笛木醤油(株)
- 設計／釀²⁹建築研究所
- 施工／清水工業(株)
／共和木材(株)



第10回奨励賞 服部民俗資料館

明治の川越大火直後に建築された塗家造です。蔵造りと並んで明治期の川越を代表するもので、10年程前から民俗資料館として親しまれてきました。

今般、各部の傷みがひどく、傷んだ部分の修復とともに伝統的な形への復元、屋根のふきかえなど全般的に改修を行い、小江戸川越の歴史文化を継承しています。

- 所在地／幸町6-8
- 建築主／服部新助
- 設計／釀²⁹建築研究所
- 施工／共和木材(株)



第11回奨励賞 日本キリスト教会神学校・教会事務所

川越の街の中心部から離れた住宅地と畑が混在する地域に建つ神学校です。

アルミや木材など、様々な素材を使った建物が、中庭を囲むように建っています。随所に使われている木の素材感が、全体を落ち着いた雰囲気にとめています。

- 所在地／吉田2-2
- 建築主／
宗教法人日本キリスト教会
- 設計／(有)北海道建築工房
- 施工／(株)三澤屋建設



第12回景観賞 大野屋

大正浪漫通りにあるこの建物は、オープンコンペの設計案により店舗の外装部分をリニューアルしたもので、アーチ型のショーウィンドーが重厚な外観に優しさを漂わせ、歴史と文化を継承した景観を見事に再現しています。

- 所在地／連雀町13-10
- 建築主／大野三吉
- 設計／
中田清兵衛建築設計事務所
- 施工／(株)三澤屋建設



第13回奨励賞 松本醤油商店店蔵

川越一番街「蔵造りの町並み」の裏通りに位置するこの店蔵は、180年を経た蔵造りの建物を生かしながら再生させ、一部に亀甲型建物の増築を行ったものです。

増築部分にある喫茶店「エサーゴノ」は、イタリア語で「六角形」の意味があり、醤油の亀甲型がイメージされています。

- 所在地／仲町10-13
- 建築主／
合名会社 松本醤油商店
- 設計／
(株)第一建築設計事務所
- 施工／(株)若海工務店



第14回景観賞 サンクス川越時の鐘店

全国的チェーン展開を行っているコンビニエンスストアでありながら、蔵造りのまちなみに配慮したデザインになっています。

木製の看板や、風に揺れるのれんが周囲の店舗と調和し、一体的なまちなみ形成に寄与しています。（現在は別の店舗になっています。）

- 所在地／幸町8-5
- 建築主／関根一郎
サンクス西埼玉(株)
- 設計／
大和ハウス工業(株)川越支店
- 施工／
大和ハウス工業(株)川越支店



第14回奨励賞 一番街創作門松

店の屋号や特徴を生かしたそれぞれの創作門松は、一番街の通りに沿って置かれます。

蔵造りのまちなみとも調和し、正月に訪れた人々を楽しませる、新しいタイプのまちづくり活動となっています。

- 所在地／一番街沿線
- 活動主体／
川越一番街商業協同組合
- 制作者／
植鍋五代目 小峯吉衛

彩の国景観賞受賞作品



第15回景観賞 サミー株式会社 川越工場

西武新宿線に面する工業団地に建ち、前面にやや傾斜した植栽を広くとり、大きなガラスのファサードが、洗練されたディテールで端正に構成されています。夜間の照明も効果的で、赤、青、白と移動するように点滅する内部壁面の照明が楽しく感じます。

- 所在地／南台1-10-8
- 建築主／サミー(株)
- 設計／(株)熊谷組首都圏一級建築士事務所
- 施工／(株)熊谷組首都圏支社 北関東支店



第15回奨励賞 大正浪漫夢通り

川越銀座としてアーケードのあるまちでしたが、地域商業のさらなる活性化を求めてアーケードを撤廃し、道路舗装の舗石化や電線の地中化を実施しました。同時に蔵造りを覆っていた看板を除去し、大正浪漫のコンセプトで通りを一新しました。

- 所在地／連雀町・仲町地内
- 建築主／川越市、川越市銀座商店街振興組合



第15回奨励賞 はだかの家

大きな空間のなかで家族5人が伸び伸びと住みたい、という要望を受けてつくられたポリカーボネート板を外壁とした一室大空間の住宅です。田園風景のなかで、温室のような外観が意外と環境によく似合っています。

- 所在地／渋井
- 建築主／吉野正一
- 設計／坂茂建築設計
- 施工／(株)三澤屋建設



20世紀景観賞 特別賞 川越一番街まちづくり

- 所在地／元町・幸町・仲町地内



2003彩の国 景観賞 F Gallery

重要伝統的建造物群保存地区のなかに、あえてコンクリートとガラスの建築を挿入しています。しかし軒高は両隣にそろえ、通り庭を挟んで美術館と店舗を奥に続いているのも、町家の伝統的手法を踏襲したものです。伝統を現代的な材料とデザインで再現しているのです。環境の活性化は、同化や調和によるだけでなく、対峙によってなし得ることを示しています。

- 所在地／元町2-2-1
- 建築主／船津紀子
- 設計／K計画事務所
- 施工／増田建設(株)



2004年彩の国 景観賞 太陽軒一飲食店

蔵造りの多い川越の古い町並みの中に挿入された洋食屋で、大正ロマンをさらに成熟させた昭和初期のデザインを、みごとに再生しています。生きた町並みは、幾つかの時代の建築が重層することによって、さらにその魅力を増すよい例です。かつてモボ、モガが集まったまちのチャミング・ポイントが現在に甦ることで、歴史の記憶が新しくまちの魅力となっています。

- 所在地／元町1-1-23
- 建築主／(株)太陽軒
- 設計／照井春郎+東海大学羽生研究室
- 施工／丸ネ木材(株)



2004年彩の国 景観賞

学校法人三室戸学園 東邦音楽大学グランツァール音楽ホール

大学キャンパスの道路側に面して、シンプルでありながら環境に寄与する質の高いデザインを見せています。緩やかにカーブする外観は、日射の変化により表情を変え、ロビー階部分のガラスの透明性は内外の景色を融和させています。道路側に緑の緩衝地帯を設け、ロビー外側には芝生のマウンドをつくり、壁をその上に浮かせて、軽快な造形美を際立たせています。

■建築主／学校法人 三室戸学園
■設計／野生司義光
■施工／大成・山口建設共同企業体



2004年彩の国 景観賞みどりの特別賞

川の小径 歩行空間・まちなみ

10年以上経った住宅地ですが、つくられたときよりも良好な住環境として育っていることが感じられます。家々の植栽も手入れが行き届き、植栽の一部は歩道にまで張りだし、「川の小径」と名付けられた道路のデザインと馴染んでいます。緑といっしょになって豊かな成長を遂げつつある住宅地は、これからの居住環境のあり方として範となるものであるといえるでしょう。

■事業者／独立行政法人 都市再生機構 埼玉地域支社



2006年彩の国 景観賞

川越市全域：川越市の違反広告物簡易除去活動

まちの景観を保持するため、市民の手で違法なはり紙や立て看板を除去しよう、という運動が、県内でははじめて川越ではじまりました。平成18年12月末現在、26団体、235名の市民が活動を続けており、違法なはり紙や立看板が少なくなりました。メンバーは市から認定をもらい、除去物の保管や廃棄処分は市が行っています。ぜひとも広げていきたいまちづくりの手法です。

■活動団体／川越市違反広告物簡易除去推進団体



2007年彩の国 景観賞

川越一番街商店街 街路灯

川越一番街商店街のまちづくりは、これまで継続的に行われ、その成果も実証済みです。今回の街路灯の試みも、このまちづくりの一環です。街路灯が建物や歩道を柔らかに照らす工夫とともに蔵造りのまちなみに配慮した、自らを主張しないデザインコンセプトも評価に値します。



■所在地／元町・幸町・仲町地内
■建築主／川越一番街商業協同組合
■設計／川越一番街街路灯委員会
■施工／岩崎電気株式会社



2007年彩の国 景観賞 川越市 森のさんぽ道

（仮称）川越市森林公園計画地内にあり川越南文化会館を拠点とした森のさんぽ道です。雑木林の中に3.4kmコースと2kmコースの遊歩道があり、身近な森林浴の空間となっています。歴史的な価値もある武蔵野の雑木林の風情を残しつつ、市民の日常のレクリエーション空間として整備、管理を行っている点が評価できます。このような考え方を今後の整備に生かしてほしいと思います。

■管理者／川越市（公園整備課）



2007年彩の国 景観賞 山吉ビル

川越最初のデパートとして昭和11年に建てられた建物は廃墟となり長い間放置されていたが、復元と耐震補強を行い、昭和初期の美しい姿を復活させた。「蔵の町川越」に点在する数件の洋風建築が川越の街並みの歴史を語っている。左右のステンドグラスからもれる暖かな光は歩く観光客の目を楽しませる夜景となっている。

■建築主／山吉商事(株)
■設計者（復元）／守山登建築研究所
■施工者／川木建設(株)

彩の国景観賞受賞作品



2009彩の国 景観賞 川越市鏡山酒造跡地施設

昭和、大正、明治、それぞれの時代につくられた旧鏡山酒造跡地の酒蔵と瓶詰工場倉庫を改修し、地域の交流空間を創造した。伝統的建築の復元と、耐震補強材・庇等の現代建築が融合して蔵の街としての景観を再生している。一時はマンション建設計画もあったが、市が土地・建物を含めて取得したものであり、保全の意思が高く評価される。

■所在地／新富町1-10-1
■建築主／川越市
■設計／株式会社フケタ設計
■施工／堀尾建設(株) 岩堀建設工業(株) (株)芹沢建設



2009彩の国 景観賞 狭山茶 鈴木園 茶畑と長屋門

市街化の進んだ地域の中で、歴史ある建物と産業、そして今の暮らしが一体的に感じられる懐かしい風景がある。日常生活の営み（茶業）が景観保存につながり、散歩や写生など周辺の住民にも親しまれている。また、鈴木園の長屋門は小谷田瓦で葺かれた築100年以上、木造2階建てのものであり、茶業だけでなく養蚕業が盛んであった土地の記憶を強く残したものとして重要である。

■所在地／上戸145
■建築主／鈴木邦夫

その他受賞作品

平成8年度環境庁監修 残したい日本の音風景100選 川越の時の鐘



1999年度グッドデザイン賞 川越一番街 蔵造りの町並み



受賞者／川越蔵の会を中心とした市民団体（町並み委員会等）と専門家グループ及び川越商工会議所

平成12年度 都市景観大賞 都市景観100選建設大臣賞 川越歴史的町並み地区（幸町の全部、元町1丁目、元町2丁目、仲町、連雀町の一部）



この表彰は平成3年に創設され、「都市景観の日」実行委員会と財団法人都市づくりパブリックデザインセンターが共同で運営しています。



当地区は、川越市の旧城下町の中心部に位置し、歴史的建造物の保存や建物のデザインの誘導により、伝統様式を踏襲するだけに留まらず、新たな提案を盛り込んだ建物も加わり、川越の誇りを感じさせる生き生きとした都市空間を創出しています。



平成13年度環境省監修 かおり風景百選
川越の菓子屋横丁



かおりの源：ハッカ飴、
駄菓子、だんご

第23回まちづくり月間（平成17年）国土交通大臣表彰
十ヵ町会

川越市伝統的建造物群保存地区決定や川越十ヵ町地区都市景観形成地域指定時における自主的な活動が、川越のまちづくりに多大な貢献をしているとして評価されました。



平成18年(財)古都保存財団
美しい日本の歴史的風土100選
蔵造りの街並み

明治の大火後、蔵造りで街並みが再建され、当時の建物が多く残され、繁栄した商家町のたたずまいを良く残している。



平成21年読売新聞創刊135周年記念 平成百景
川越



川越景観百選

平成4年度に川越市制施行70周年を記念して、川越市の特色をよく表す景観を市民の皆様に呼びかけ、応募総数827点のうちから選りすぐりの100景を「川越景観百選」として、決定しました。

川越市は農・工・商のバランスが取れた都市であり、歴史の流れとともにそれぞれの特徴を生かした景観が各地に存在しています。「川越景観百選」では歴史と文化の町並みから、現代生活はもちろん自然の恵みや年中行事まで、多種多様に選ばれています。

なお、掲載内容は選定当時のものです。



6 長喜院と門前



37 東明寺と川越夜戦跡



23 川越駅西口広場



71 福原の雑木林



32 御伊勢塚公園



93 川越祭と町並み

川越景観百選一覧

町並み「町並みは終わらない連歌」		水辺の景観「水辺が醸す心象風景」	
1	一番街の町並み	52	新河岸川の風景－高沢橋～濯紫公園あたり
2	仲町の町並み	53	田谷堰のポプラ～道灌橋あたり
3	広済寺と喜多町あたり	54	赤間川公園あたり
4	菓子屋横丁	55	仙波河岸と愛宕の杜
5	養寿院と門前	56	新河岸の河岸場跡付近
6	長喜院と門前	57	養老橋付近の新河岸川
7	行伝寺と山屋あたり	58	小畔川の風景
8	寺町通りと烏山神社あたり	59	伊佐沼の風景
9	喜多院界隈の町並み	60	初雁橋と入間川
歴史的建造物「川越にいきづく建築物」		61	川越橋
10	初雁城跡と本丸御殿	62	古川のはいだわら
11	大沢家	63	入間川と荒川の合流付近
12	時の鐘	64	上江橋からの夕景
13	幸町のあさひ銀行	65	川越線荒川鉄橋
14	川越商工会議所	66	びん沼
15	松江町の教会	67	萱沼
16	六軒町の教会	田園の景観「豊かな田園に包まれて」	
17	東邦音大の記念堂	68	下老袋の氷川神社と集落
現代のシンボル空間「川越感覚を育むシンボルゾーン」		69	古谷－堀の内あたり
18	市立博物館	70	奥貫家の長屋門
19	本川越ステーションビルと広場	71	福原の雑木林
20	川越駅東口の広場	72	山王塚
21	市立図書館	73	的場の牛塚
22	脇田町の歩道橋	74	尾崎神社とさざんか通り
23	川越駅西口広場	75	小堤の八幡神社とふるさとの森
24	J A川越市本店	季節の彩りと天然記念物「四季の移ろいに魅せて」	
25	西文化会館	76	新河岸川の桜並木
26	東洋大学キャンパス	77	川越女子高校の桜並木
27	東京国際大学キャンパス	78	今福明見院としだれ桜
公園と街路樹「緑豊かな川越に」		79	延命寺と桜
28	富士見町のけやき並木	80	上戸日枝神社と桜
29	川越運動公園	81	名細中と桜
30	川越水上公園	82	札の辻とポケットパーク
31	水久保第一公園	83	芳野台のハナミズキ並木
32	御伊勢塚公園	84	川鶴三芳野のハナミズキ並木
33	小畔水鳥の郷公園	85	新河岸川の菜の花－扇橋あたり
34	川鶴橋と笠幡公園	86	入間川の菜の花－古谷あたり
35	鶴ヶ島駅前から川鶴団地に至るけやき並木	87	入間川の曼珠沙華
寺社と門前、史跡「今に伝える歴史と文化」		88	川越高校のくすのき
36	氷川神社	89	出世稲荷の大いちょう
37	東明寺と川越夜戦跡	90	並木の大きくすのき
38	三芳野神社－とうりゃんせ発祥の地	91	鯨井のひいらぎ
39	蓮馨寺	92	下小坂の大けやき
40	富士見櫓跡	祭と風物「川越歳時記」	
41	七曲がり	93	川越祭と町並み
42	浮島神社	94	石原のささら獅子と観音寺
43	仙波東照宮	95	熊野神社と西の市
44	喜多院	96	お不動様と蚤の市
45	中院	97	福田の獅子舞－赤城神社と星光院
46	仙波の氷川神社と富士見橋	98	藤宮神社と筒がゆ神事
47	鶺鴒坂と熊野神社	99	古尾谷八幡神社とほろかけ祭
48	灌頂院	100	西福寺と餅つき踊り
49	蓮光寺		
50	川越街道藤間あたり		
51	河越氏館跡と常楽寺		

川越百景

平成4年度に、市制施行70周年を記念して選定された「川越景観百選」。選定から20年が経過し、当時の景観が守られ育まれてきたものもあれば、時代の流れと共に変化したものもあります。また、新しく生まれた良好な景観もたくさんあります。そこで、市制施行90周年にあたる平成24年度に新たに公募し、百の景観を選定したのがこの「川越百景」です。

「川越百景」は、由緒ある社寺やその門前などの歴史的な町並みや建造物はもちろん、郊外に広がる緑豊かな田園地帯、市民の憩いの場となっている公園や水辺の空間、現代のシンボルとなる建造物、また地元で昔から伝わる伝統行事などから広範に選ばれています。

なお、掲載内容は選定当時のものです。



18 初山と浅間神社



81 小江戸川越マラソン



49 旧山崎家別邸



82 豊田本の集落一薬師堂と善長寺



54 伊佐沼

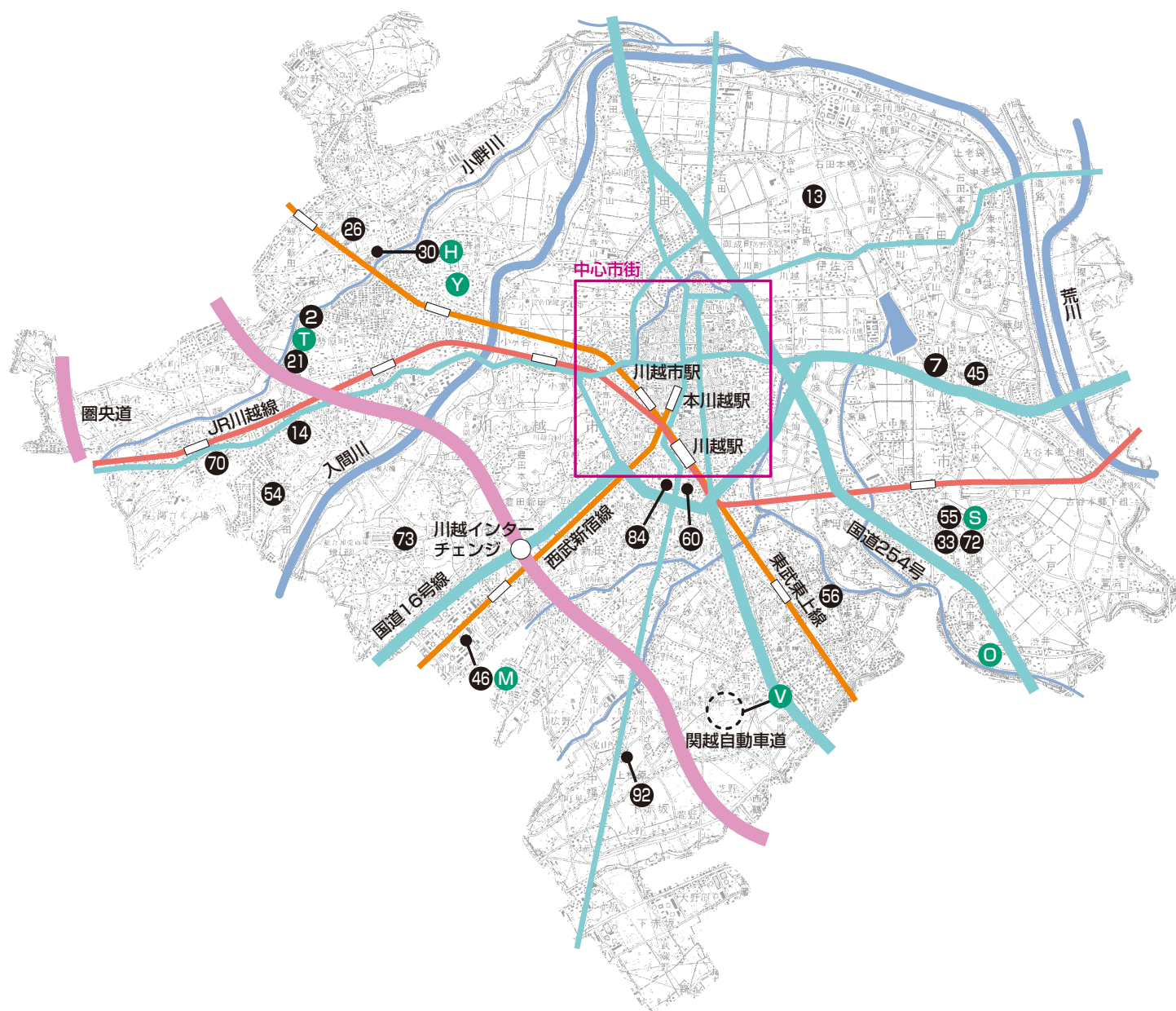


96 入間川の土手風景

川越百景一覧

1 旧志義町の町並み	51 烏頭坂と熊野神社
2 川越商工会議所	52 新宿氷川神社（雀の森）
3 大正浪漫夢通り	53 小ケ谷のさくら堤と田面澤
4 喜多院の西界限	54 伊佐沼
5 松江町の教会	55 笹原門樋のある光景
6 西武新宿線特急小江戸号	56 菅間緑地と水田地帯
7 富士見町の川越街道ケヤキ並木	57 舟塚
8 蓮馨寺とその界限	58 芳野台のハナミズキ並木
9 旧川越織物市場	59 灌頂院
10 永島家と七曲り	60 古尾谷八幡神社とほろ祭
11 浮島神社	61 入間川と荒川の合流点（上江橋から荒川鉄橋にかけて）
12 お不動さまと蚤の市	62 下老袋の氷川神社と古谷地区の水塚
13 喜多院	63 小中居神明神社
14 仙波東照宮	64 古谷から南古谷に広がる田園風景
15 中院の四季	65 東邦音楽大学 三室戸記念館
16 仙波氷川神社と富士見橋	66 蓮光寺
17 仙波河岸史跡公園と愛宕神社	67 荒川や入間川が作り出した自然ーびん沼、萱沼、はいだわら
18 初山と浅間神社	68 奥貫家の長屋門
19 三変稲荷神社古墳	69 並木のクス
20 仙波氏館跡と新河岸川	70 久下戸氷川神社
21 川越女子高校の桜並木と六軒町のカトリック川越教会	71 新河岸の河岸場跡周辺
22 出世稲荷神社の大イチョウ	72 寺尾の日枝神社
23 八幡神社と年中行事	73 寺尾調節池
24 小江戸蔵里	74 福原の雑木林
25 旧六軒町郵便局とその界限	75 福原 下赤坂の集落周辺
26 蔵造りの町並み	76 今福の明見院としだれ桜
27 札の辻界限	77 砂久保の集落と稲荷社
28 旧八十五銀行本店本館（埼玉りそな銀行川越支店）	78 川越水上公園と池辺公園
29 時の鐘	79 山王塚
30 広済寺と喜多町	80 西福寺と餅つき踊り
31 菓子屋横丁	81 小江戸川越マラソン
32 寺町通りとその界限	82 豊田本の集落ー薬師堂と善長寺
33 川越城跡	83 川越狭山工業団地
34 川越市立博物館と美術館	84 御伊勢塚公園と小畔水鳥の郷公園
35 川越氷川神社	85 尾崎神社
36 川越まつり	86 小畔川左岸の笠幡地区
37 東明寺、河越夜戦跡と門前	87 延命寺とその界限
38 新河岸川（田谷堰から宮下橋にかけて）	88 安比奈親水公園
39 ヤオコー川越美術館	89 霞ヶ関カンツリー倶楽部
40 旧赤間川の光景（田谷堰から赤間川公園にかけて）	90 こもれびの道のある東洋大学キャンパスと鎌倉街道
41 川越高校のくすのき	91 河越氏館跡と常楽寺
42 石原のささら獅子舞、観音寺と本応寺	92 上戸日枝神社と桜
43 川越の料亭群	93 鈴木園
44 川越の昭和モダン 太陽軒	94 小堤の八幡神社とふるさとの森
45 江戸道の起点、百丈と旧江戸町	95 下小坂の大けやき
46 レトロバスの走る風景	96 入間川の土手風景（平塚橋から入間大橋にかけて）
47 栄林寺のしだれ桜	97 福田の獅子舞ー赤城神社と星行院
48 中成堂歯科医院	98 藤宮神社と筒がゆ神事
49 旧山崎家別邸	99 寺山用水沿いの田園風景
50 クレアモール	100 八咫神社と上寺山の獅子舞

受賞作品案内図



川越市都市景観表彰受賞作品	
第1回	① 近 滝
	② 御伊勢塚公園調整池
	③ つ ち か ね
	④ 札の辻モニュメント
	⑤ 西 川 邸
	⑥ 山 口 病 院
	⑦ 紋 蔵 庵
第2回	⑧ あ い と く
	⑨ 西武本川越ステーションビル・広場
	⑩ 亀 屋 栄 泉
	⑪ アトランタビル・式号館
	⑫ 幸 す し
	⑬ JA川越市カントリーエレベーター
	⑭ 川越ハートフルタウン「霞の郷」
	⑮ 近 長 商 店

第3回	⑬ 長 喜 院 門 前 整 備
	⑭ 小 松 屋 製 菓
	⑮ 福 呂 屋
	⑯ メリディアンガーデン雪月花
	⑰ 荻 野 金 物 店
	⑱ リバーサイド番街集会所管理事務所
	⑲ 小江戸号レッドアロー10000系
第4回	⑳ 田 中 屋 美 術 館
	㉑ 金 笛
	㉒ シマノコーヒー大正館
	㉓ 東洋大学川越校舎4号館
	㉔ 小川信用金庫川越西支店
	㉕ 連 雀 町 山 車 蔵
	㉖ 服 部 民 俗 資 料 館
	㉗ 日本キリスト教会神学校・大会事務所
	㉘ 手 打 そ ば 百 丈

第5回	㉙ 利 剣 堂 並 木 印 工 房
	㉚ 川 越 今 泉 郵 便 局
	㉛ 大 野 屋 洋 品 店
	㉜ 吉 源
	㉝ 小 江 戸 巡 回 バ ス
第6回	㉞ い も 膳
	㉟ 松 本 醬 油 商 店
	㊱ 日本聖公会川越キリスト教会会館・牧師館
	㊲ ミ ュ ー ジ シ ョ ン 川 越
	㊳ 一 番 街 創 作 門 松
第7回	㊴ 広 濟 寺 参 道
	㊵ 埼玉県立川越高等学校門柱
	㊶ 元町郵便局局舎&中村邸
	㊷ 古 谷 の 舎(いえ)
	㊸ サミー株式会社川越工場
	㊹ 中 成 堂 歯 科 医 院

	㊺ 大正浪漫夢通り街路灯
	㊻ う な っ 子 水 際 空 間
	㊼ 喫茶房しのん 足元周り
	㊽ 太 陽 軒
	㊾ F G a l l e r y
第8回	㊿ 味 の 店 い せ や
	㊽ 特別養護老人ホーム 真寿園
	㊾ 学校法人三宅学園東邦音楽大学グラッソール
	㊿ 齋 藤 家 - 伊 勢 安 -
	㊽ 茶 陶 苑 大 蔵
第9回	㊾ 川 越 菓 舗 道 灌
	㊿ 幸 す し 乾 蔵
	㊽ 株式会社マツザキ(酒類販売)
	㊾ 川 越 ベーカリー楽楽
	㊿ 川 越 八 幡 宮 の 参 道
	㊽ ヘアーサロン銀バリー&本の店太陽堂

第12回	80	川越の家
	81	ヤオコー川越美術館
	82	聞信会館
	83	風凜
第13回	84	紋蔵庵川越店
	85	N J 昭和館
	86	アールデコ鍛冶小町堂
	87	HATSUNEYA GARDEN
第14回	88	ギャラリーななとうり
	89	金大幸町店舗住宅
	90	氷川神社参集殿及びバス停
	91	宮下町の町家
	92	くるみ歯科・小児歯科
	93	連雀町炭火やきとりもととし本店
	94	菓子屋横丁防犯灯
	95	旧大工町長屋

L	一番街創作門松(第14回)
M	サミー株式会社 川越工場(第15回)
N	大正浪漫夢通り(第15回)
O	はだかの家(第15回)
P	川越一番街まちづくり(20世紀)
Q	F Gallery(2004年)
R	太陽軒(2004年)
S	学校法人三笠学園 東邦造美大学グラツツガル(2004年)
T	川の小径(2004年)
U	川越一番街商店街 街路灯(2007年)
V	川越市 森のさんぽ道(2007年)
	川越市全域・川越市の連反応吉物関係除去活動(2006年)
W	山吉ビル(2008年)
X	川越市鏡山酒造跡地施設(2009年)
Y	狭山茶 鈴木園 茶畑と長屋門(2009年)



Award For Kawagoe Landscape Design



2022年10月発行

発行●川越市 〒350-8601 川越市元町1-3-1

編集●都市計画部都市景観課 電話 049-224-5961 (直通)

リサイクル適性

この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。